

# 東近江市農業振興施設整備工事

## (建築工事)

図 面 リ ス ト					
建 築 図 ( 意 匠 図 )			建 築 図 ( 構 造 図 )		
図 番	図面名称	縮 尺	図 番	図面名称	縮 尺
意 - 01	建築工事特記仕様書 (1)	-	構 - 01	構造特記仕様書	-
意 - 02	建築工事特記仕様書 (2)	-	構 - 02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図-1	-
意 - 03	建築工事特記仕様書 (3)	-	構 - 03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図-2	-
意 - 04	工事区分表	-	構 - 04	鉄骨工作標準図-1	-
意 - 05	建物の経過表, 求積図, 面積図	1/600・200	構 - 05	鉄骨工作標準図-2	-
意 - 06	現況図	1/500	構 - 06	柱脚工法標準図	-
意 - 07	付近見取図, 建物配置図	1/2500・500	構 - 07	地盤改良特記仕様書	-
意 - 08	材料表, 仕上表	-	構 - 08	地質調査資料	-
意 - 09	現況平面図, 平面図	1/100	構 - 09	基礎伏図・構造仕様	1/100
意 - 10	中 2 階平面図, 屋根伏図	1/100	構 - 10	基礎リスト	1/30
意 - 11	天井伏図	1/100	構 - 11	梁伏図	1/100
意 - 12	立面図	1/100	構 - 12	軸組図-1	1/100
意 - 13	断面図, 改修前・後既設西面立面図	1/100	構 - 13	軸組図-2	1/100
意 - 14	矩計図 (1)	1/20	構 - 14	部材・柱脚リスト	1/30・20
意 - 15	矩計図 (2)	1/20	構 - 15	継手・仕口リスト	1/20
意 - 16	改修前既設屋外階段詳細図	1/30	構 - 16	架構詳細図	1/30
意 - 17	改修後既設屋外階段詳細図	1/30			
意 - 18	平面詳細図, 展開図	1/50			
意 - 19	建具特記仕様書, 建具表 (1)	1/50			
意 - 20	建具表 (2)	1/50			
意 - 21	SD-101・102詳細図 (1)	1/30			
意 - 22	SD-103・104詳細図 (1)	1/30			
意 - 23	SD-101・102詳細図 (2), SD-103・104詳細図 (2)	1/30, 5			
意 - 24	部分詳細図 (1)	1/20・10・5			
意 - 25	部分詳細図 (2)	1/20			

発 注 者                    東 近 江 市

設 計 者                    株 式 会 社   創 作 舎

[illegible]



[illegible]

23

植栽工事

24

ユニバーサルサイン工事

25

解体工事

1

橋杭基礎整備工

2

橋込み用土

3

支柱

4

結核樹木等の処置

5

芝張り

6

樹種給板

7

芝方式

8

壁上緑化

9

人工芝

種別

※A種・B種・C種・D種

(23.2.2)・(表23.2.2)

※客土・現場発生の良土

(23.2.3)

材質

※加圧防侵処理土・竹部・枕・鳥居型・ハツ柄型・布掛け型・三脚型・四脚型・ワイヤ掛け型・地下埋設型

(23.3.2)

※引渡しの日から1年・引渡しの日から

(23.3.4)・(23.3.6)・(23.4.7)

種別

※こぎうい芝・野芝

(23.4.2)

樹種ごとに、2割以上設置すること。

材質・寸法

※図示による。

ポット径6cm・土壌改良

(23.5.2)

材質

ナイロン(クリン系)

ハイル長:mm

施工:

施工場所:

26

アスベスト解体工事

1

工事仕様

2

事前調査

3

分析調査

4

事前説明

5

システムによる報告

6

届出

7

立会

8

石綿粉じん濃度測定

9

管理責任者

10

石綿含有吹付け材

11

石綿含有保温材等

12

石綿含有成形板等

13

石綿含有土塵材

14

報告書

・本特記仕様書によるほか、厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課及び環境省水・大気環境局大気環境課がとりまとめた「建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散防止対策徹底マニュアル」及び東近江市の「石綿含有建材等の除去等を伴う解体工事の手引き」による。

※事前調査は建築物石綿含有建材調査の結果を有すること。

(解1.4.1)

調査範囲

※本工事の対象となる範囲全て

・

貸与等

・新築時設計図書

・石綿含有分析結果書

・その他( )

・本工事の除去等作業に伴い、石綿含有建材の有無を確認するため分析調査を行うこと。

(解1.4.1)

箇所又は室名

使用箇所

調査対象材料

備考

・「解体等工事に係る事前調査説明書」により事前調査について説明を行うこと。

(「石綿含有建材の除去等を伴う解体工事の手引き」参照)

・石綿事前調査結果報告システムにより事前調査結果を知事及び労働基準監督署に報告すること。

・東近江環境事務所と協議の上、「特定粉じん排出等作業実施届出書」(2部)を作成し、監督職員に提出すること。

・東近江労働基準監督署と協議の上、「建設工事計画書」を作成し、提出すること。

・「特定粉じん排出等作業実施届出書」に伴う東近江環境事務所の現地審査に立会し、対応を行うこと。

(解6.1.3)

測定時期

測定場所

測定点数

備考

処理作業前

石綿除去作業場内

敷地の境界又は施工区域境界

4

処理作業中

石綿除去作業場内

セキュリティゾーン入口

負圧後じん装置の排出口

敷地の境界又は施工区域境界

4

処理作業後

石綿除去作業場内

敷地の境界又は施工区域境界

4

・アスベスト粉じん濃度測定の時期等は、国道交通省大臣官庁官庁官制部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」の解説6.1.3を参照すること。

・環境省の「アスベストモニタリングマニュアル(第4.2版)」に定めた測定方法により実施すること。

・特別管理産業廃棄物管理責任者を選任すること。

(解6.3.1-4)

石綿含有吹付け材の処理等

箇所又は室名

使用箇所

参考数量

使用材料名

備考

除去工法

※飛散抑制剤等により湿潤化した後に除去

・

(解6.3.2)

飛散抑制措置

※湿潤化

・固定化

(解6.3.2)

処分方法

※埋立処分(a)

・中間処理(b)

(解6.3.3)

石綿含有保温材等の処理等

(解6.4.1-4)

箇所又は室名

使用箇所

参考数量

使用材料名

備考

除去工法

・切断又は破砕して除去

(解6.3.2)

※原形のまま手ばらし

(解6.3.2)

・封じ込め工法

・囲い込み工法

・グローブバッグを使用して除去

飛散抑制措置

※湿潤化

・

処分方法

※埋立処分(a)

・中間処理(b)

(解6.5.1-4)

石綿含有成形板等の処理等

箇所又は室名

使用箇所

参考数量

使用材料名

備考

除去工法

・原形のまま手ばらし

・常時湿潤化した状態で切断又は破砕

飛散抑制措置

※養生シート等

(解6.5.1)

除去後の処理

※埋立処分(a)(b)①

・中間処理(a)(b)②

(解6.5.3)

石綿含有土塵材の処理等

(解6.6.1-5)

箇所又は室名

使用箇所

参考数量

使用材料名

備考

除去工法

・高圧水洗工法

・射撃剤を用いる工法

・電気グラインダー等を使用する工法

・ウォータークリーン工法

(解6.6.1)

除去後の処理

※埋立処分(a)(b)①

・中間処理(a)(b)②

(解6.5.3)

処分方法

・汚泥処理

(解6.6.4)

・石綿含有建材の除去等作業、廃石綿等の処分後には、「石綿含有建材の除去等を伴う解体等工事の手引き」に基づき作業記録報告書(1部)を作成し、提出すること。

・「特定粉じん排出等作業完了報告書」(2部)を作成し、監督職員に提出すること。

・「作業完了報告書」を作成し、東近江労働基準監督署に提出すること。

27

建設廃棄物の処理

①

再生資源化等

2

産業廃棄物広域認定制度の活用

3

最終処分

4

処分に注意を要する建設廃棄物

<4.4.1(b)>

建設廃棄物の種類

中間処理施設又は再生資源化施設の名称等

所在地

備考

コンクリート

コンクリート及び鉄からなる建築資材

アスファルト、コンクリート

木材

金属類

小型二次電池

<4.4.1(c)>

建設廃棄物の種類

再生資源化の有無

再生資源化施設の名称等

所在地

備考

蛍光灯及びHIDランプ

・あり・なし

硬質塩化ビニル管及び継手

・あり・なし

ガラス

・あり・なし

<4.4.1(f)>

現場利用する再生資源化された建設廃棄物

種類

利用する所在地等

備考

鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生クラッシュラン(RC-40)として利用する場合は、標準仕様書(表22.3.3)再生クラッシュランによることとし、すりへり原料を50%以下にすること。

<4.4.2>

種類

所在地

備考

<4.4.4>

(安定型)

建設廃棄物の種類

受入施設の名称等

所在地

備考

(管理型)

建設廃棄物の種類

受入施設の名称等

所在地

備考

1から3の処理、処分は、設計計算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また処理・処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

<4.5.1>

種類

処理施設名称

所在地

備考

CCA処理木材

ひ葉又はカドミウム含有石膏ボード

◆備考◆

◆設計事務所◆

◆発注者◆

◆工事名称◆

◆図面名◆

◆縮尺◆

確認者

確認者

図作者

図作者

意-03

◆図面番号◆

製図

最新日

1回目R7.10.10

2回目

3回目

4回目

5回目

6回目

7回目

8回目

株式会社 創作舎

TEL 0748-42-5611

FAX 0748-42-8080

東近江市

TEL 0748-24-1234

FAX 0748-24-0752

東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)

建築工事特記仕様書(3)



工事区分表

以下の項目は○印部分を区分して施工する。ただし、図面その他に特記のあるものは、それに従う。

	工事項目	建築	電気	機械		別途	備 考		工事項目	建築	電気	機械		別途	備 考
①	躯体貫通スリーブ及び箱入れ、穴埋め補修	○	○	○				5 6	電動ブラインド・電動バトン・電動スクリーン用配線工事（1次・2次）及びリモコン取付け		○				
②	設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋	○						⑤ 7	造り付け家具、備品の製作・設置	○					
3	地下消火水槽、蓄熱槽等の躯体内外防水仕上、マンホール、タラップ、連通管							5 8	カーテン、カーテンボックス	○					
④	点検口の製作取付け（床、壁、天井）	○						5 9	サイン	○					
5	吹出口、吸込口、照明器具、スピーカー等の埋込器具取付けのための穴開け、補強	○						6 0	コーナーカバー	○					
6	建物外壁に取付く給排水ガラの製作取付け	○				（フィルター：機械）		6 1	ブール	○					
⑦	建具ガラの製作取付け	○						6 2	ブールの給水・排水	○		○			
8	防火区画、防火上主要間仕切り貫通部処理		○	○				6 3	床暖房の給湯器用のコンセント取付け		○				
9	その他設備機器用基礎及び仕上げ	○						6 4	床暖房の二次側配管、配線、リモコン用配管、配線			○			
⑩	設備機器用既製品基礎・鉄骨架台基礎		○	○				6 5	F F式暖房器具の一次配管、配線		○				
⑪	設備機器取付けに伴うアンカーボルト取付け及び穴埋め補修		○	○				6 6	F F式暖房器具の二次配管、配線			○			
1 2	受水槽及びポンプ室付受水槽							6 7	ガス漏れ警報器の配管、配線、取付け		○				
1 3	高架水槽			○		補充水槽		6 8	自家発電機の取付け			○			
1 4	L P Gバルクタンク等ペーパーライザー			○				6 9	自家発電への配管、入線		○				
1 5	各種水槽の電極棒及び配管、配線工事		○	○				7 0	シャワーユニットの一次側給水配管、給湯配管			○			
1 6	全上電極座及び電極棒の調整			○				7 1	シャワーユニットの給水配管、給湯配管の接続	○					
1 7	消火水槽			○				7 2	シャワーユニットの一次側配管、配線		○				
1 8	グリース阻集器（補強工事とも）			○				7 3	シャワーユニットの二次側配管、配線		○				
① 9	既製品流し、ガス台、吊り戸棚、水切り棚	○						7 4	全上機器の取付け	○					
2 0	I Hコンロ		○					⑦ ⑤	しゅん工引渡しまでの工事用、調整用電気、水道、ガス等の基本料金、使用料	○	○	○			
2 1	電気温水機		○					⑦ 6	諸官庁等の検査、その他必要な検査の申請手続	○	○	○			計画通知に係る手続は、 監理者によるものとする。
② ②	既製品流しの排水金物			○				⑦ 7	機械設備機器の一次側、二次側の配線、接続		○				
② ③	造り付流しの排水金物			○				7 8	発電機の設置、試運転、調整			○			
2 4	洗面器、便所に取付の既製品防蝕鏡			○				7 9	発電機の一次側、二次側の配線、接続		○				
2 5	洗面器、便所に取付の大型製作防蝕鏡	○						8 0	本工事に伴う各設備の引込負担金					○	
2 6	洗面化粧台及び鏡			○				8 1	E V工事における各階出入口の孔あけ工事	○					
2 7	便器、手洗い廻りの手摺			○		下地補強は建築工事		8 2	E V工事における各階乗場出入口周囲のモルタル詰め又はロックウール詰め工事	○					
2 8	小便器自動洗浄用の側電源配管、配線工事		○					8 3	E V工事における乗場据付け後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上げ工事	○					
2 9	フードの製作取付け			○				8 4	E V工事における屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ工事	○					
3 0	防火戸、防煙、防火シャッターの一次側配管、配線		○					8 5	E V工事におけるビット内防水及び埋め戻し工事	○					
3 1	防火戸、防煙、防火シャッターの二次側配管、配線、開放装置、調整	○						8 6	E V工事における受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み及びつなぎ込み工事		○				
3 2	全上用の煙感知器連動装置、制御盤		○					8 7	E V工事におけるインターホン・非常ベル、その他E Vに必要な配管配線設備		○	○			
3 3	昇降機	○						8 8	E V工事におけるビット点検用コンセント設備工事		○				
3 4	昇降機の出入口三方枠カゴ内インターホン取付け及び二次側配管配線、制御盤	○						8 9	E V工事における昇降路頂部の煙感知器設置工事（昇降路頂部から点検が可能）		○				
3 5	昇降機の一次側配管、配線工事		○					⑨ ⑩	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用における吊りボルト及びインサート	○	○				
3 6	防犯用配管工事		○					9 1	テレビ・エアコン等のリサイクル料					○	
3 7	全上入線（電源送り）及び機器取付					○									
3 8	フラッグポール	○													
③ 9	雨水排水の会所樹、排水管	○													
4 0	ルーフドレン及び堅礎配管工事	○													
④ ①	汚水、雑排水の会所樹、排水管			○											
④ ②	消火器・消火器収納ボックス	○													
4 3	電話機器		○												
4 4	C A T V		○												
4 5	テレビ共聴受信		○												
④ 6	エアコン用スリーブ			○											
④ 7	空調リモコンの配管、配線工事（集中管理リモコンとも）及び試運転調整			○											
④ 8	空調機電源供給工事（室内機・室外機）		○			冷媒配管に共巻き									
④ 9	空調機室内機から室外機間渡り配線工事			○											
⑤ ⑨	換気扇及び換気扇取付枠			○											
⑤ ①	天井扇、ダクト、ガラリ、ペントキャップ			○											
⑤ ②	天井扇、換気扇、サイクル扇のスイッチ取付け工事			○											
⑤ ③	湯沸器本体及び壁取付け用部材			○											
⑤ ④	給湯リモコン用配管、配線工事及びリモコン取付け			○											
5 5	電動ブラインド・電動バトン・電動スクリーン取付け工事	○													

設備用の開口補強数量表

1 設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋

(1) 梁貫通補強筋（貫通孔 D／3 以下、梁巾－ 4 0 0 以下の場合、Dは梁せい）

貫 通 内 径（φ）	数 量	備 考

※貫通内径 1 0 0 φ未満の時は補強を必要としない。（ H：貫通内径 mm ）

(2) 壁開口補強筋

開 口 面 積（㎡）	数 量	備 考

※壁筋を切断しない場合は補強を必要としない。（ A：開口面積 ㎡ ）

2 設備用下地材開口補強

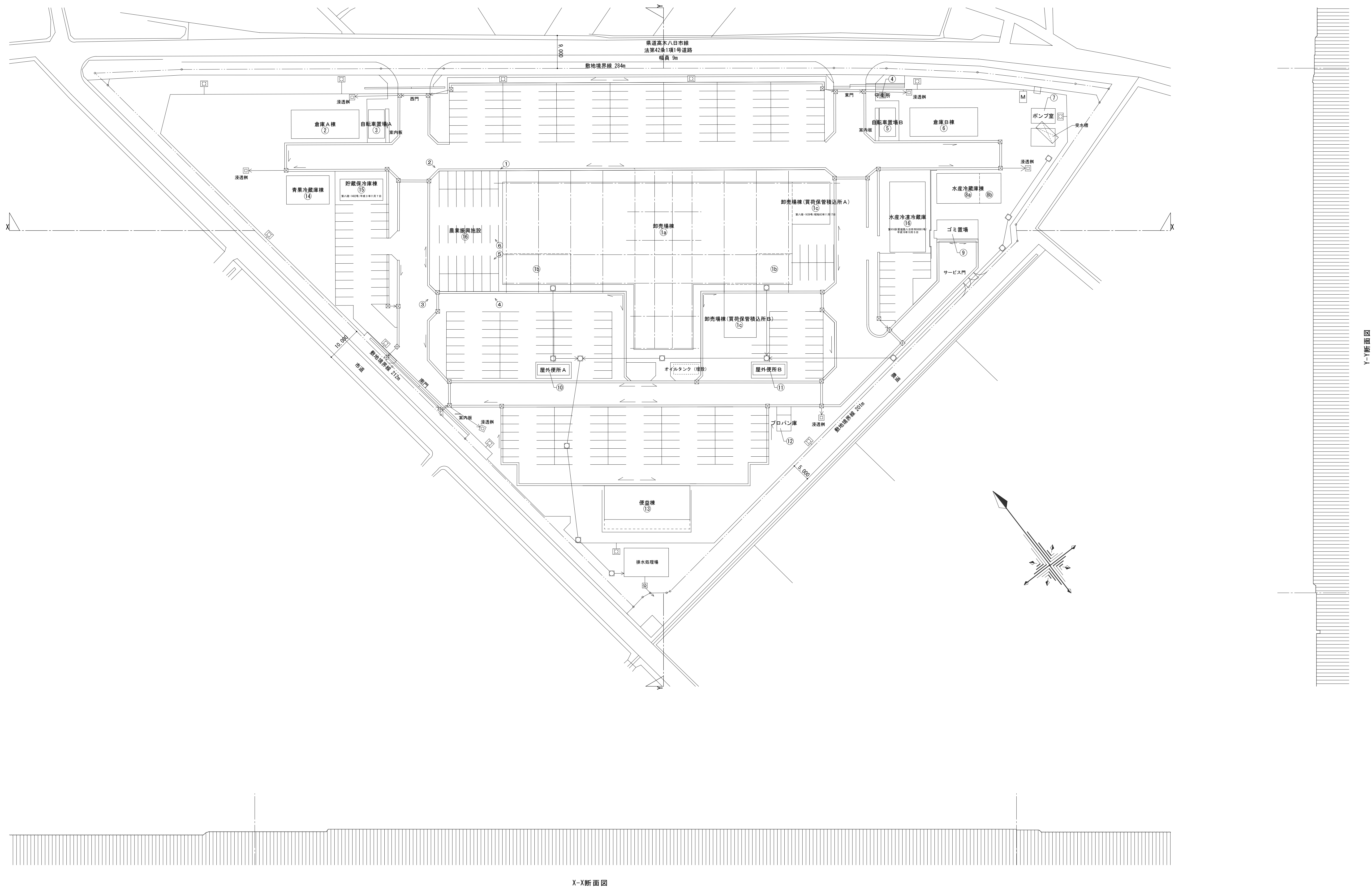
(1) 壁開口補強 軽量鉄骨壁下地、本軸等

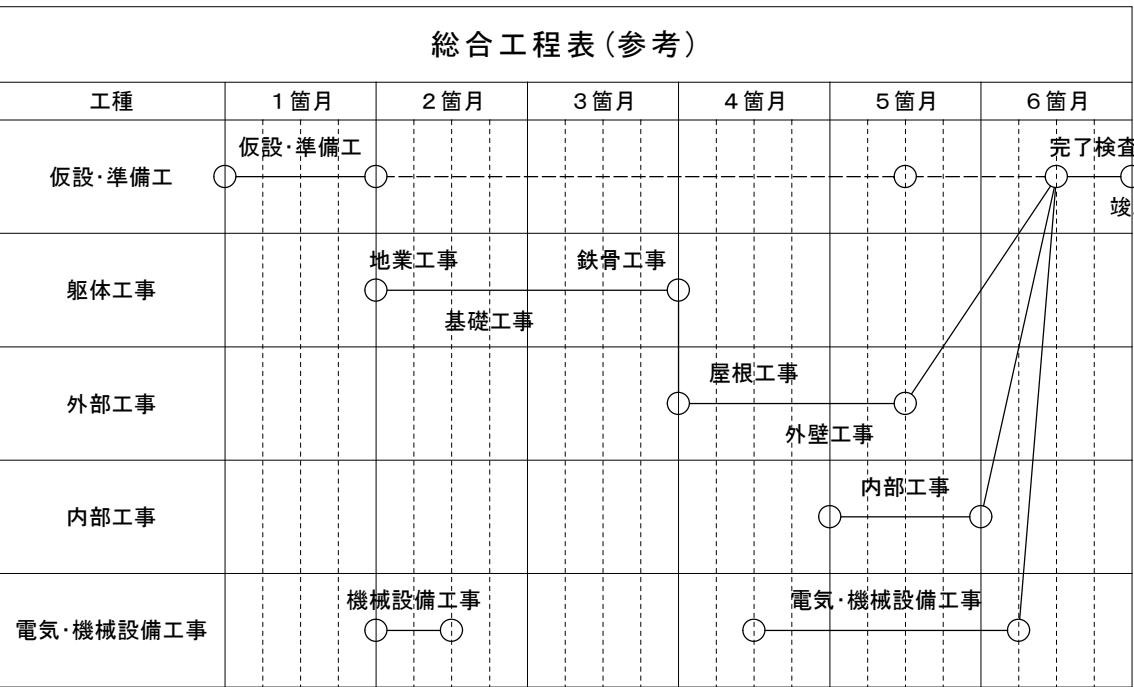
開 口 寸 法	数 量	備 考

◆備考◆	製図 最新日	1回目 R7.10.10	5回目	◆設計事務所◆  株式会社 創作舎 TEL 0748-42-5611 FAX 0748-42-8080	◆発注者◆  東 近 江 市 TEL 0748-24-1234 FAX 0748-24-0752	◆工事名称◆  東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	◆図面名◆	◆縮尺◆	確認者	確認者	図作者	図作者	意-04  ◆図面番号◆
		2回目	6回目				工事区分表						
		3回目	7回目										
		4回目	8回目										

昭和56年度建物概要						昭和57年度建物概要						昭和63年度建物概要						平成3年度建物概要						平成16年度建物概要						令和7年度建物概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
既設建物						既設建物						既設建物	1a	卸売場棟	RC+S・3F+PHF	4,214.99			既設建物	1a	卸売場棟	RC+S・3F+PHF	4,214.99			既設建物	1a	卸売場棟	RC+S・3F+PHF	4,214.99			既設建物	1a	卸売場棟	RC+S・3F+PHF	4,214.99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</



[illegible]



<input type="checkbox"/> 増築建物を示す <input type="checkbox"/> 既設建物を示す									

着工						株式会社 創 作 舎	作 成 2025.10.10	名 称 東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	図 番  意 - 07
竣工						1級建築士登録 第248195号 小 杉 光 史	証 印	図 名 付近見取図 建物配置図	



塗料

使用		符 号	名 称	使用	符 号	名 称
○	SOP	合成樹脂混合ペイント塗り		FC	フタル酸樹脂ワニス塗り	
	VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り		AC	アクリル樹脂ワニス塗り	
	AE	アクリル樹脂エナメル塗り		2-ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス塗り	
	DP	耐候性塗料塗り		2-FUC	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス塗り	
	2-XE	2液形エポキシ樹脂エナメル塗り		2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	
	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り		2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り		FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	
	EP-S1	低汚染エマルションペイント				
	LC	クリヤラッカー塗り		U-BE	1液形ウレタン樹脂焼付塗装	
	2-UC	2液形ポリウレタンワニス塗り		F-BE	ふっ素樹脂焼付塗装	
OS	オイルステイン塗り		A-BE	アクリル樹脂焼付塗装		
OC	オイルフィニッシュ仕上げ					
WP	コンクリート面撥水剤塗り					

符 号	名 称	符 号	名 称
RC	コンクリート	K	ケイ酸カルシウム板
CB	コンクリートブロック	GB-R	せっこうボード
S	鉄骨	GB-F	強化せっこうボード
LGS	鋼製壁・天井下地	GB-D	化粧せっこうボード
EQP	押出成形セメント板	FF	フリーアクセスフロア
W	木	GB-S	シーシングせっこうボード
		GB-NC	不燃積層せっこうボード

防火材料一覧表

区分	使用	材料の名称・規格	認定番号	区分	使用	材料の名称・規格	認定番号		
不燃材料	○	けい酸カルシウム板	NM-8576	不燃材料	○	紙製壁紙	NM-0223		
			NM-8578				繊維製壁紙	NM-****	
			NM-9029				無機質壁紙	NM-0849	
		化粧けい酸カルシウム板	NM-8577						
		せっこうボード 12.5,15mm	NM-8619						
		不燃化粧せっこうボード 9.5mm	NM-0441						
			NM-0296						
		普通硬質せっこうボード 9.5,12.5,15mm	NM-9645						
		化粧せっこうボード 12.5mm	NM-8614						
			NM-0127						
	○	強化せっこうボード 12.5,15,18,21,25mm	NM-8615	準不燃材料	○	バルブ遮入スラグ・セメント板	NM-0523		
							不燃化粧板	NM-2183	
		ロックウール化粧吸音板	NM-8599				せっこうボード 9.5mm	QM-9828	
		吹付けロックウール 10mm以上	NM-8601				化粧せっこうボード 9.5mm	QM-9824	
		グラスウール保温板	NM-8605				シーシングせっこうボード 9.5mm	QM-9826	
		グラスウール化粧保温板	NM-8606				木片セメント板	QM-****	
		ALCパネル	NM-****				木毛セメント板	QM-****	
		押出成形セメント板	NM-9252				紙製壁紙	QM-****	
		塗料塗装/不燃材料 (下地・法定不燃材)	NM-8685				繊維製壁紙	QM-****	
		仕上塗材/不燃材料 (下地・法定不燃材)	NM-8572				プラスチック製 (塩化ビニル) 壁紙	QM-9210	
外部	○			不燃材料	○	無機質壁紙 (下地・法定不燃材料、金属 せっこうボードを除く。直張り)	QM-9410		
	○			準不燃材料	○	化粧せっこうボード 9.5mm	QM-9824		

仕上材料表

部位	名称 (符号)	品種・規格・寸法など	参考品番 (又は同等以上)
屋根	屋根仕上材 (1)	塗装ガルバリウム鋼板t0.8折板ハゼH170 裏貼材:スーパーフェルトンⅡ t5	㈱セキノ興産:SSV-2型
	屋根仕上材 (2)	塗装ガルバリウム鋼板t0.8折板H150 (吊工法)	㈱セキノ興産:SS-500型
	庇	アルミ製	
樋	軒樋 (1)	塩ビ製W273×H175 色付き 吊金物:ステンレス製	パナソニックハウジングソリューションズ㈱: エアロアイアン 前高200WIDE
	軒樋 (2)	塩ビ製W212×H150 色付き 吊金物:ステンレス製	パナソニックハウジングソリューションズ㈱: エアロアイアン 前高165WIDE
	堅樋	塩ビ製φ100 色付き 掘り金物:ステンレス製	パナソニックハウジングソリューションズ㈱: タフカラー
	養生管	SGP管125A H1000 DP	
壁	外部壁仕上材	塗装ガルバリウム鋼板t0.4角波成型	㈱達川製鋼所:ヨド角波サイディング720
	通気シート	壁用透熱・透湿・防水シート	フクビ化学工業㈱:透熱エアテックスRST
腰壁	コンクリート保護剤	透膜・浸透型疎水剤	大日技研工業㈱:ランデックスコートWS疎水剤B工法
その他	バリカー模型	スチール製 φ76.3×t3.2 H800 黄色焼付塗装	帝金㈱:バリカー模型 スタンダードスチールコーナータイプ Y83R-A3
	バリカービラー型	スチール製 φ114.3×t4.5 H850 黄色焼付塗装	帝金㈱:バリカー模型 スタンダード スチールタイプ 55-4 フックナシ
内部	ルーフファン	省エネ形	㈱鎌倉製作所:RF-24E
	庇	吊ポール式 アルミ製庇	アルフィン㈱:AP60 サポートポール仕様

外部仕上表

区分	部位	仕 上	区分	部位	仕 上	区分	
----	----	-----	----	----	-----	----	--

内部仕上表

位置	室 名	床		巾 木	壁		廻 縁	天 井		天井高 (mm)	備 考	室 名
		(躯体)・(準躯体)・(下地)・(仕上)	床高さ (mm)		(躯体)・(準躯体)・(下地)・(仕上)	(躯体)・(準躯体)・(下地)・(仕上)						
作業場	RC 金ごて押え 表面強化材 (床面カッター切)	±0	RC打放し LGS GB-Rt12.5 ステンレスt1 H300 HL	\$ GB-St12.5見返し LGS GB-Rt12.5 ケイカル板t6底目張り EP	塩ビ製	裏貼材:スーパーフェルトンⅡ t5見返し	-	配管バック、流し台 (2) 作業台、プレハブ冷蔵庫	作業場			
	現場事務室 休憩室	RC モルタル金ごて押え ビニル床シートt2	±0	LGS GB-Rt12.5 \$ LGS GB-Rt12.5 化粧ケイカル板t6底目張り	塩ビ製	LGS GB-NCt9.5	不	2500	流し台 (1)、吊戸棚	現場事務室 休憩室		
	備品保管棚	\$ 鉄鋼板t6 SOP		\$ GB-St12.5見返し		裏貼材:スーパーフェルトンⅡ t5見返し	-	タラップ (2)	備品保管棚			

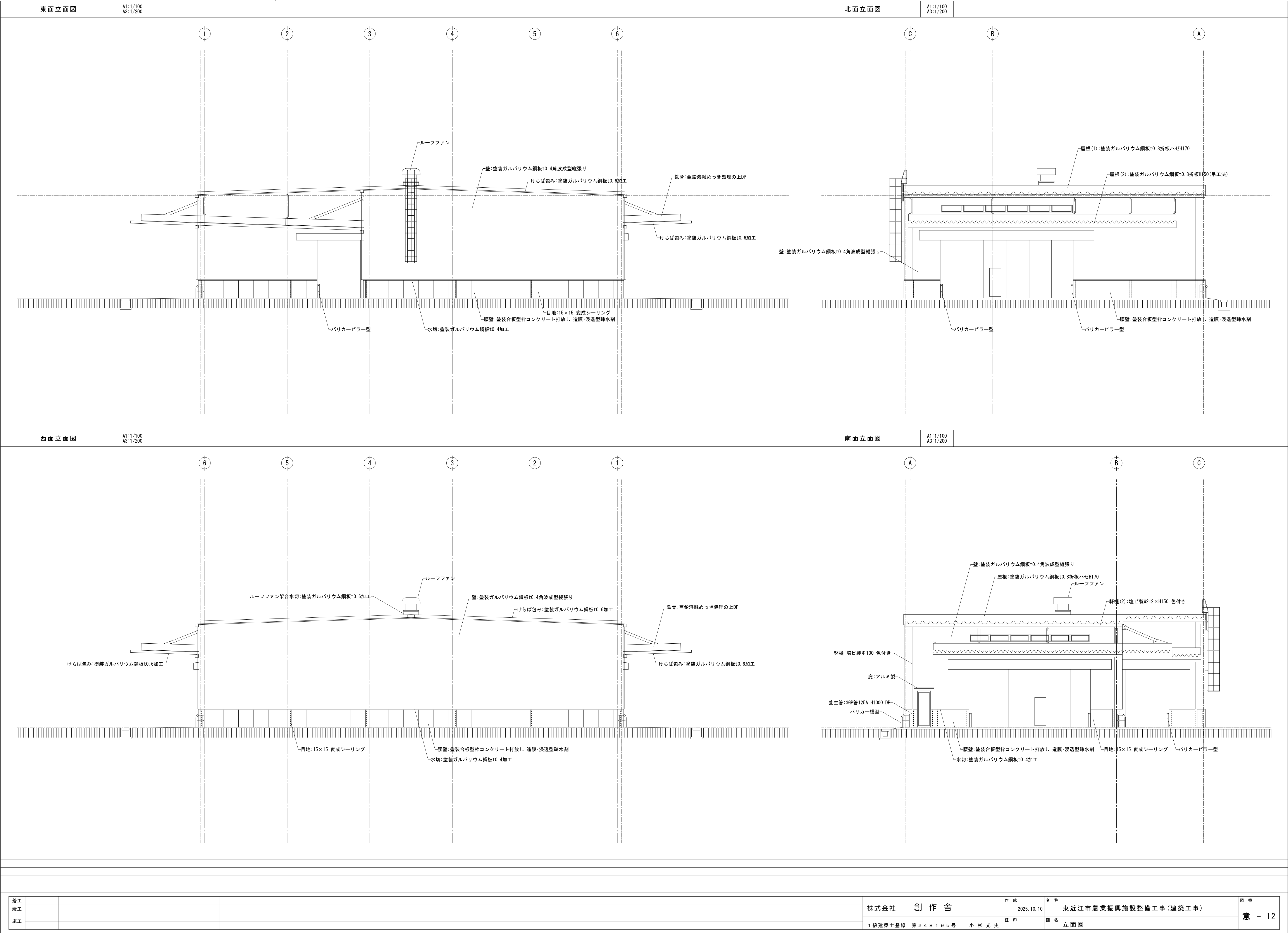




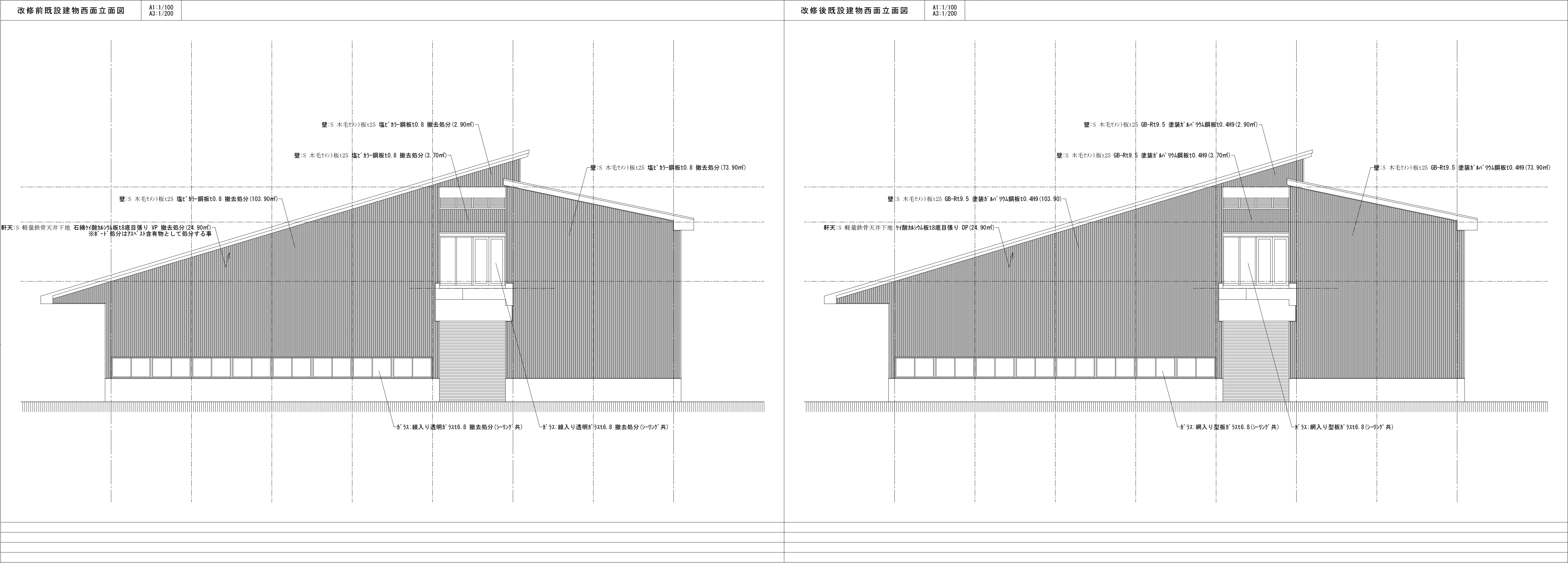
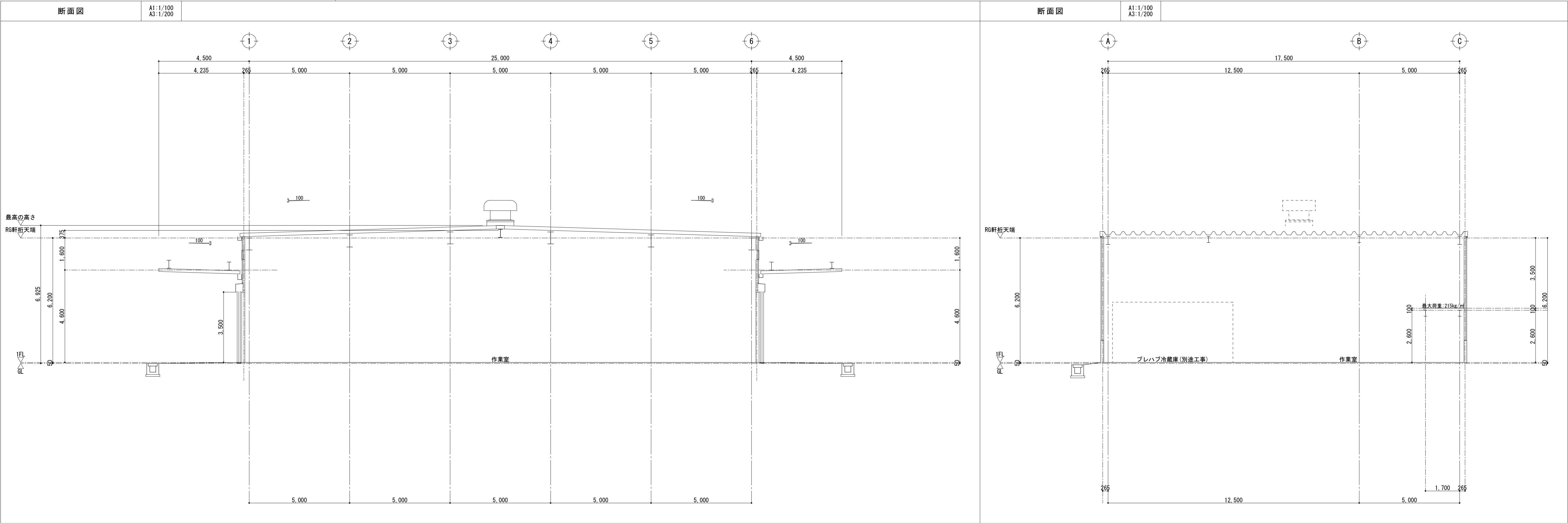




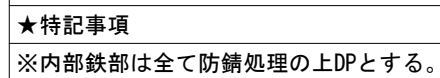




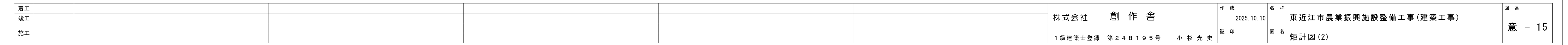
着工							株式会社 創作舎	作成 2025.10.10	名称 東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	図番
竣工							1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証印	図名 立面図	意 - 12
施工										



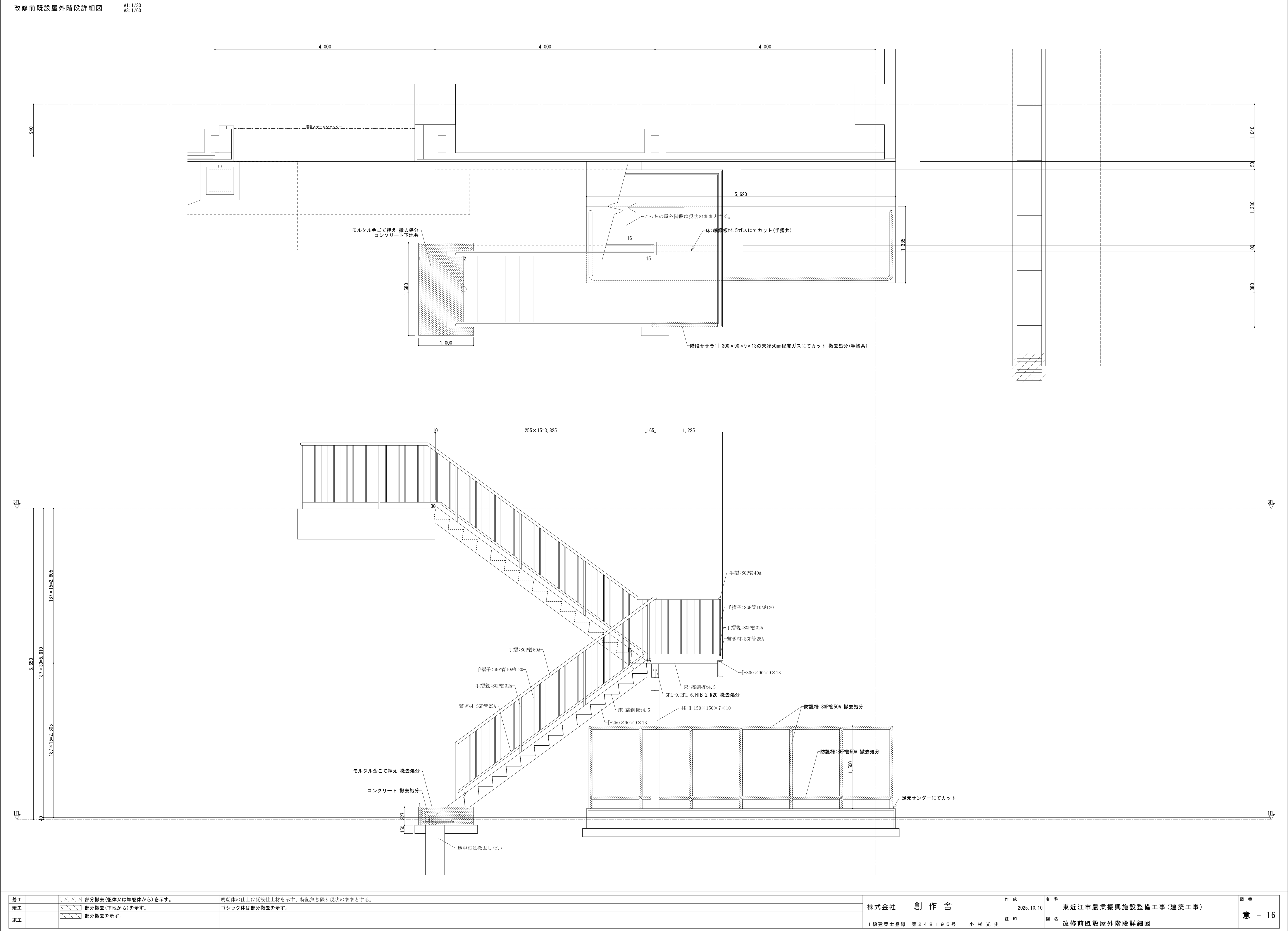
着工	特記無き限り現状のままとする					株式会社 創作舎	作成 2025.10.10	名称 東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	図番 意 - 13
竣工	明細体の仕上は既設部分を示す					1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証印	図名 断面図, 改修前・後既設西面立面図	
施工	ゴシック体は新設・改修部分を示す								



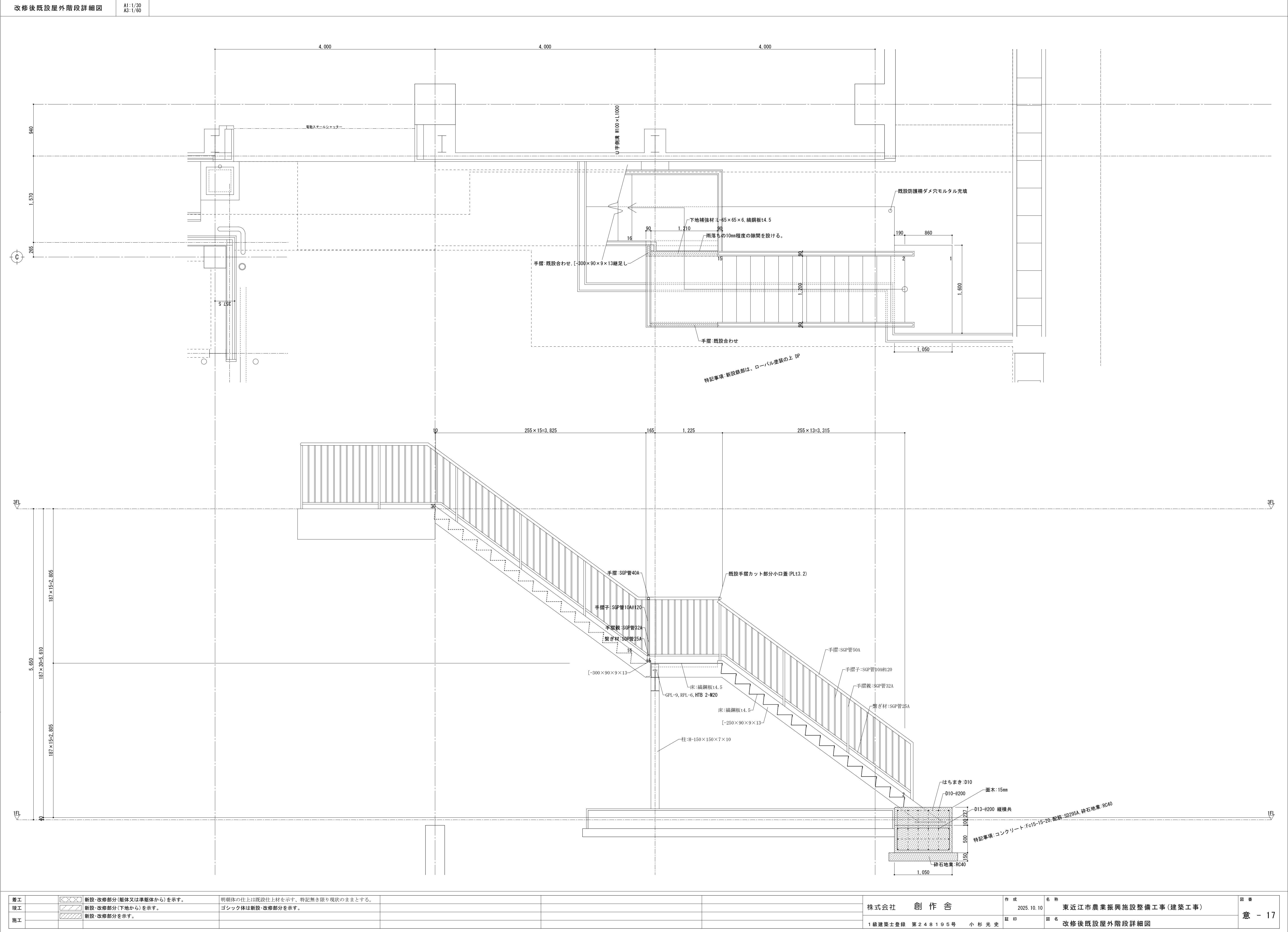
着工					株式会社 創 作 舎	作 成	名 称	東 近 江 市 農 業 振 興 施 設 整 備 工 事 (建 築 工 事)	図 番
竣工						2025.10.10			
施工						証 印	図 名		
					1級建築士登録 第248195号 小 杉 光 史		矩計図(1)		意 - 14



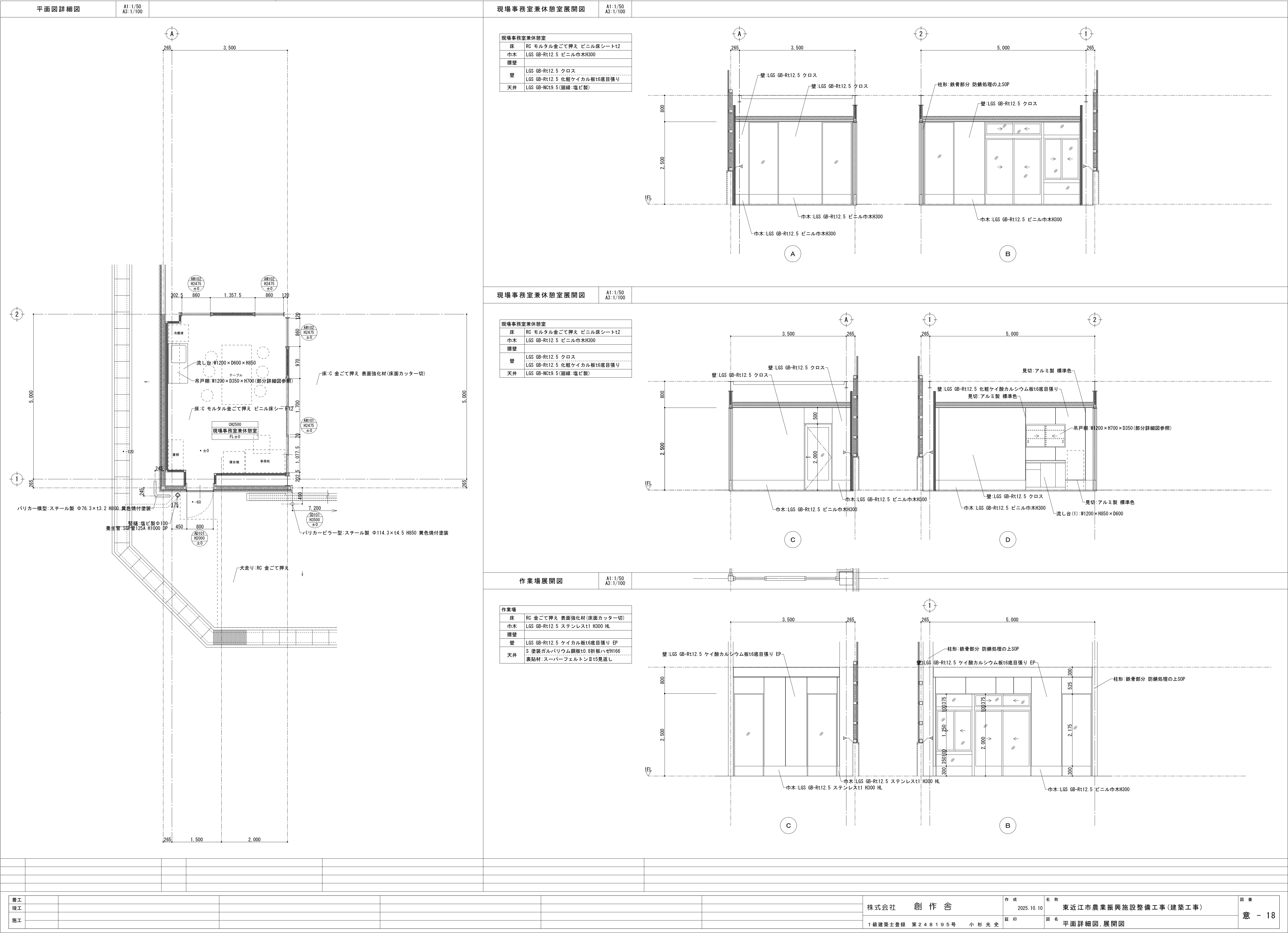




着工		部分撤去 (躯体又は準躯体から) を示す。	明朝体の仕上は既設仕上材を示す、特記無き限り現状のままとする。					株式会社 創作舎	作成 2025.10.10	名称 東近江市農業振興施設整備工事 (建築工事)	図番 意 - 16
竣工		部分撤去 (下地から) を示す。	ゴシック体は部分撤去を示す。					1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証印	図名 改修前既設屋外階段詳細図	
施工		部分撤去を示す。									



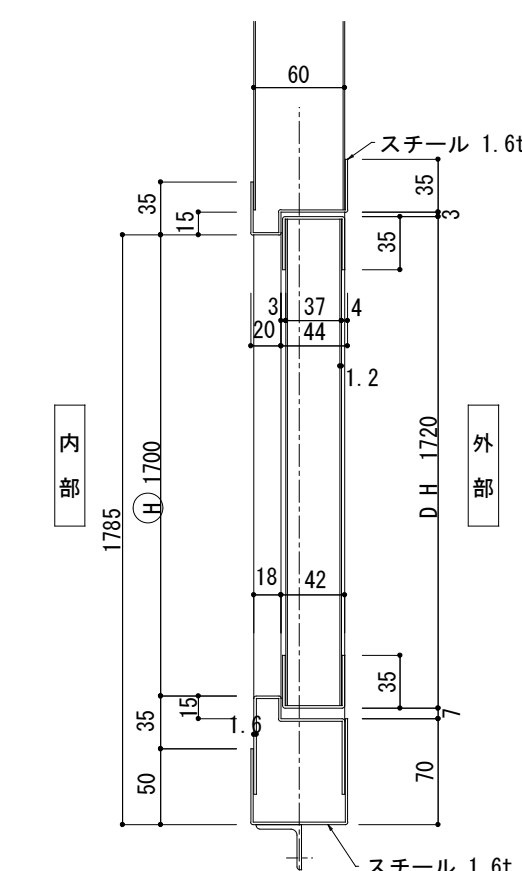
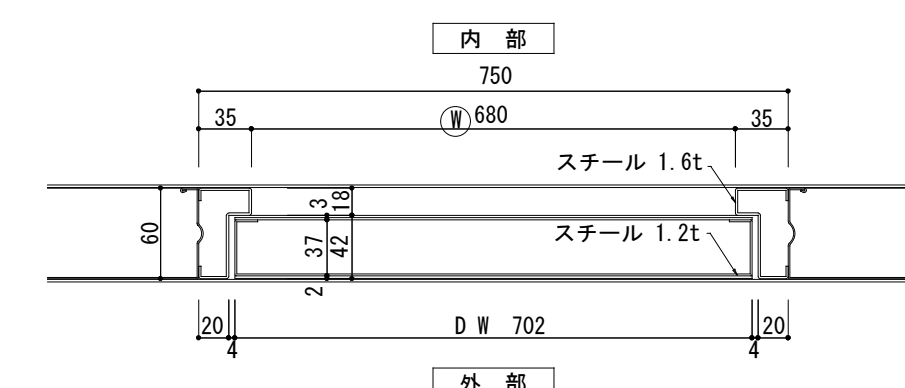
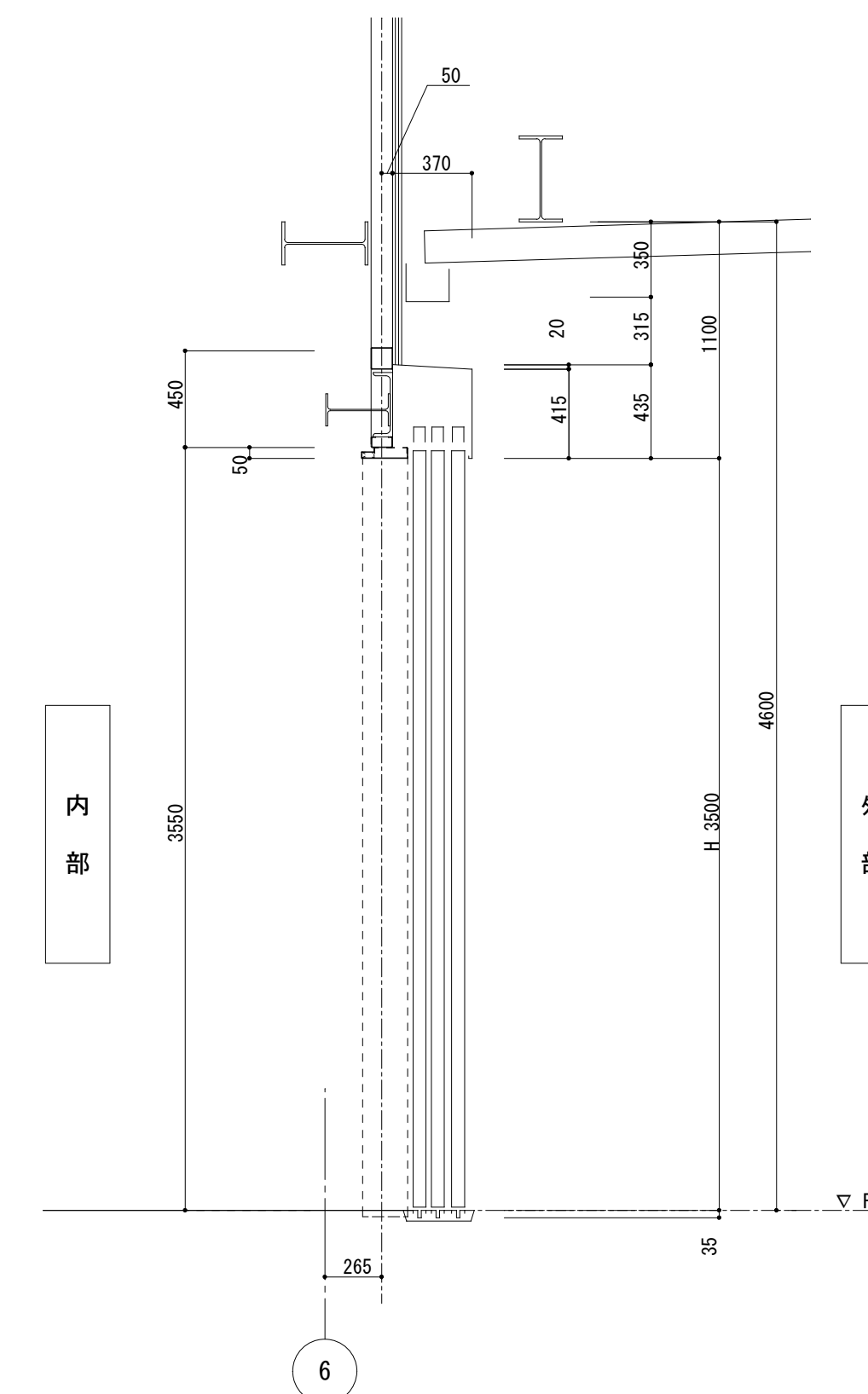
着工		新設・改修部分 (躯体又は準躯体から) を示す。	明朝体の仕上は既設仕上材を示す、特記無き限り現状のままとする。					株式会社 創作舎	作成	2025.10.10	名 称	東近江市農業振興施設整備工事 (建築工事)	図 番	意 - 17
竣工		新設・改修部分 (下地から) を示す。	ゴシック体は新設・改修部分を示す。					1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証 印		図 名	改修後既設屋外階段詳細図		
施工		新設・改修部分を示す。												

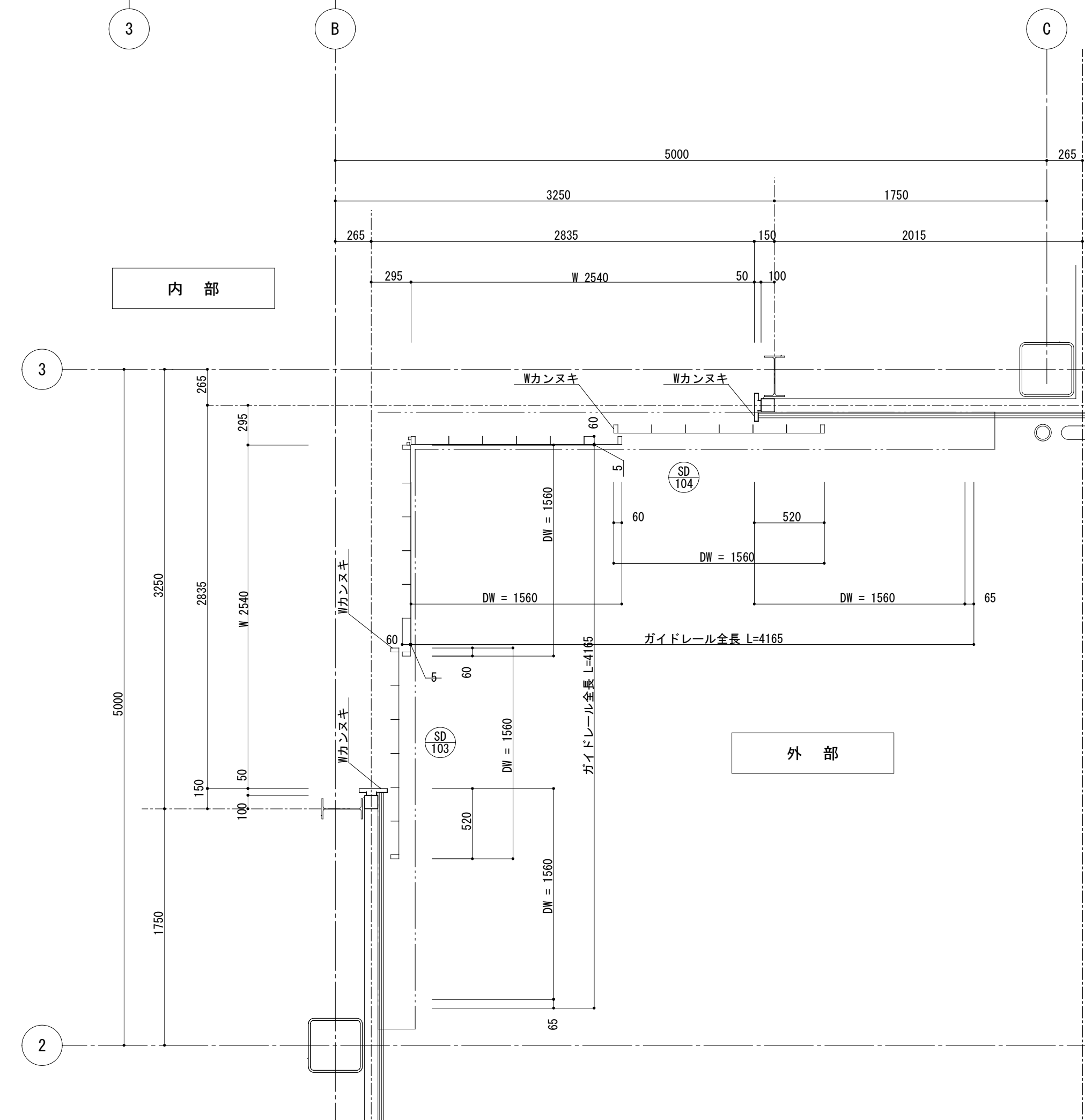
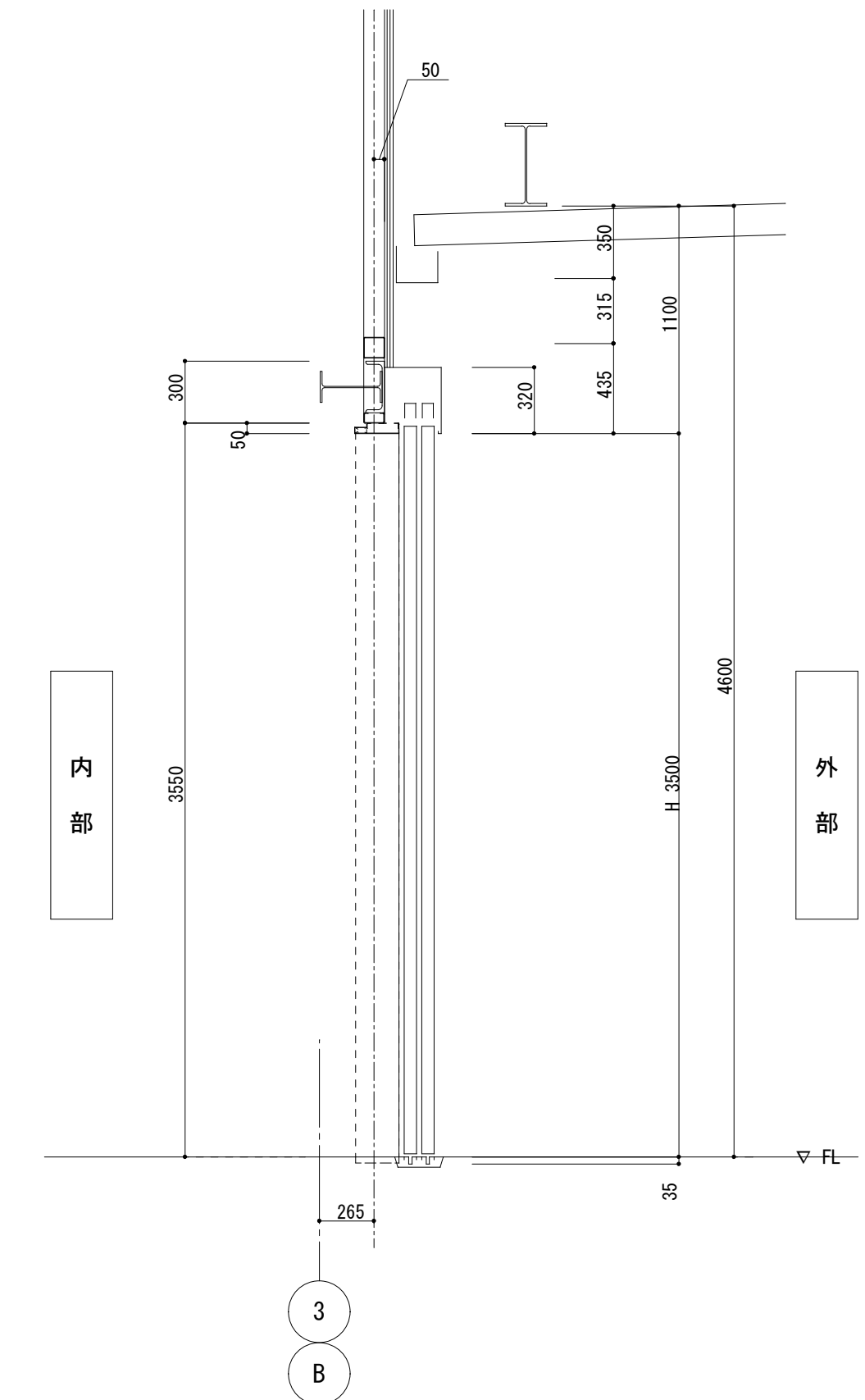
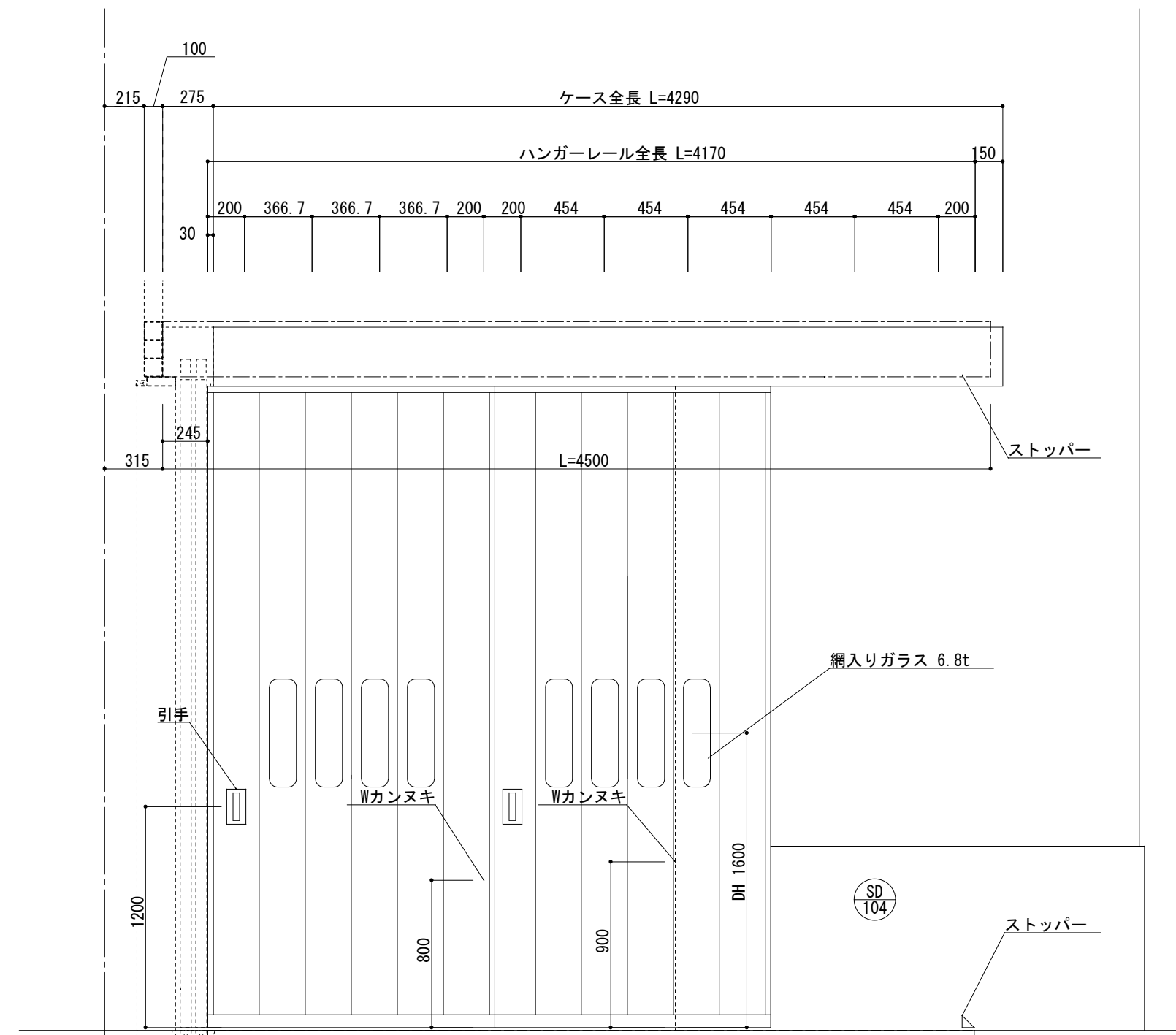
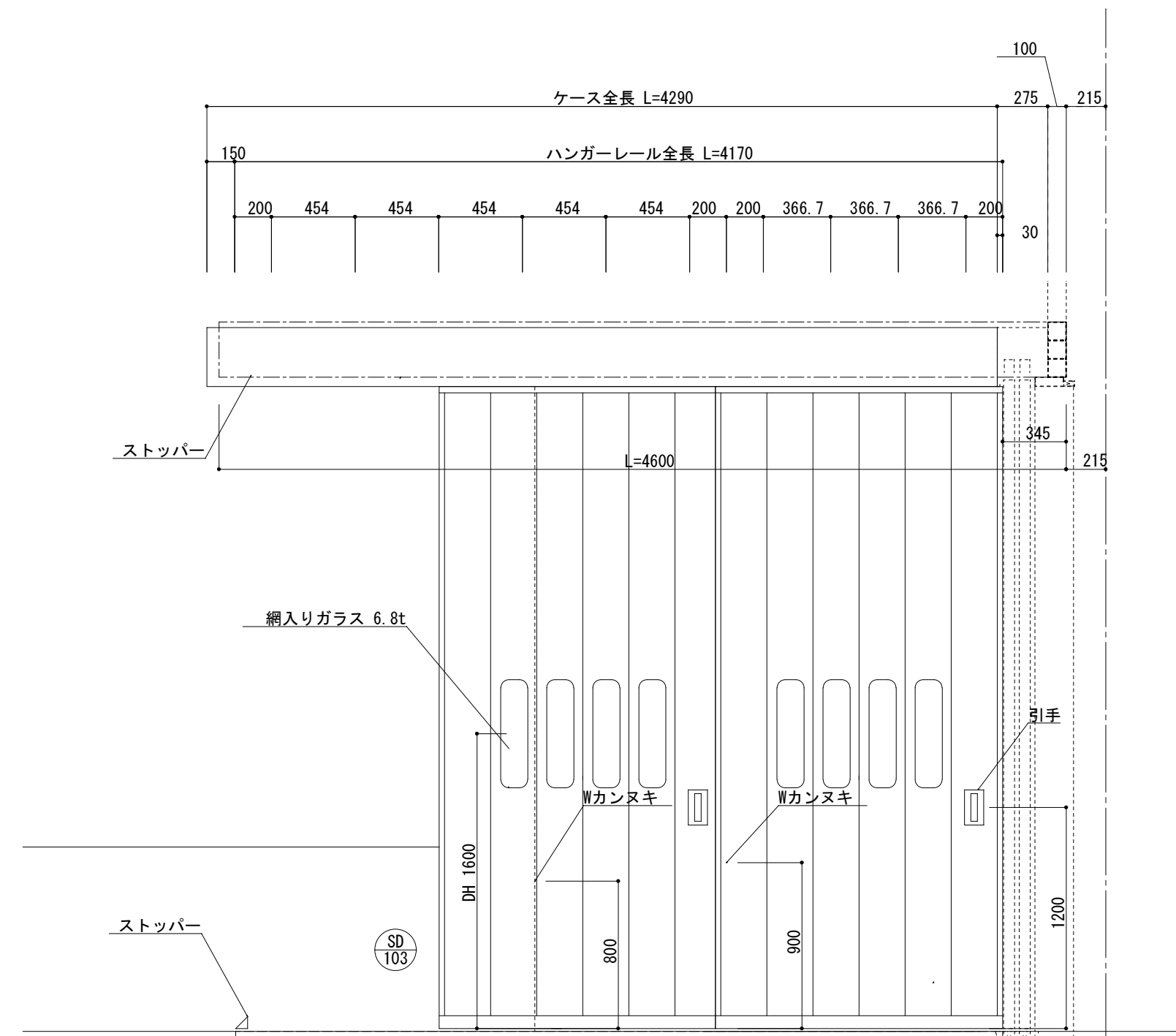






建具表 (2)												
符号	位置	数量	○				○				○	
建具姿図												



[illegible]



















鉄 骨 工 作 標 準 図 (I) 2025年度版

§ 1 一般事項

1 - 1  
基 本 事 項

- 1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
- 2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書 1 - 2 - 4、5 に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
- 3) 製作精度等に関しては、J A S S 6 の付則 6「鉄骨精度検査基準」による。
- 4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1 - 2  
そ の 他

別図構造特記仕様書による

§ 2 共通事項

2 - 1  
略 号

- |           |           |           |                |
|-----------|-----------|-----------|----------------|
| ○ A B     | アンカーボルト   | ○ B H     | 組立て H 形鋼       |
| ○ B P L   | ベースプレート   | ○ C H P L | チェッカープレート      |
| ○ D F P L | ダイヤフラム    | ○ F B     | フラットバー         |
| ○ F P L   | フランジプレート  | ○ G P L   | ガセットプレート       |
| ○ H T B   | 高力ボルト     | ○ R P L   | リッププレート        |
| ○ S P L   | スプライスプレート | ○ T B     | ターンバックル        |
| ○ W P L   | ウェブプレート   | ○ W P L   | 溶接記号 ( § 4 参照) |

§ 3 ボルト接合

3 - 1  
高力ボルト

ボルトの長さ		
ねじの呼び	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40

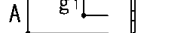
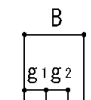
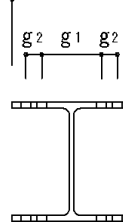

1. 特記以外はすべてS10T (トルシア形高力ボルト、上図) 又はF10Tとする。
2. 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3. ボルトの接合面の処理は、締付け摩擦面を平グラインダ掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは1次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4. 垂鉛メッキボルトの場合は、すべてF8Tとする。

3 - 2  
高力ボルト  
のピッチ

呼び径	M 16			
	M 20			
ピッチ	標準	P	M 22	
	最小		M 24	
はしあき	e		45 (60)	
最小縁端距離	せん断線、手動ガス切断線		28	
	圧延線、自動ガス切断線等		22	

( ) 内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。

ゲージ	千鳥打ちのピッチ b		
	M16, 20, 22	M24	
E1	35	50	65
E2	40	45	60
E3	55	25	45

															
A or B	g <sup>1</sup>	g <sup>2</sup>	最大軸径	B	g <sup>1</sup>	g <sup>2</sup>	最大軸径	B	g <sup>1</sup>	最大軸径					
**50	30		16	**100	60		16	**50	30	16					
60	35		16	125	75		16	65	35	20					
65	35		20	150	90		22	70	40	20					
70	40		20	175	105		22	75	40	22					
75	40		22	200	120		24	80	45	22					
80	45		22	250	150		24	90	50	24					
90	50		24	*300	150	40	24	100	55	24					
100	55		24	350	140	70	24								
125	50	35	24	400	140	90	24								
130	50	40	24												
150	55	55	24												
175	60	70	24												
200	60	90	24												

\* B = 300 は千鳥打ちとする。

\*\* 印の欄の g<sup>1</sup> 及び最大軸径の値は強度上支障がないとき  
最小繰上距離の規定にかかわらず用いることができる。







S S コラム工法特記仕様書（G B R C 性能証明 第 1 2 - 0 7 号改 2 更 2）

1. 工法概要

本工法はセメント系固化材を固化材液として現地地盤に注入し、共回り防止翼の左右両端に、円柱状の鋼棒

を装着した攪拌装置を用いて混合攪拌することによりソイルセメントコラムを形成する工法である。

2. 特記仕様

- ( 1 ) コラム径

φ = 800 mm

( 2 ) 掘削深度

H = 4.00m (掘削長さ変更の場合は、  
管理者と協議しトルク計にて確認を行う。)
- ( 3 ) 設計基準強度

F<sub>c</sub> = 800kN/m<sup>2</sup>
- ( 4 ) 本工事工法は、一般財団法人 日本建築総合試験所で証明された建築技術性能証明取得工法とする。

3. 室内配合試験

- ( 1 ) 固化材

セメント系固化材又は、セメントを使用する。
- ( 2 ) 室内配合強度の設定と配合量

本施工にあたり、原則として事前に現地土を採取し、室内配合試験を実施しなければならない。  
また、配合量は所定の配合強度が得られる配合量を想定し、その配合を中心として貧配合のもの  
1 種類、富配合のもの 1 種類の合計 3 種類程度設定する。

室内配合強度

$X_l = X_f / \alpha_f$

$X_l$  : 室内配合強度 (kN/m<sup>2</sup>)

$X_f$  : 配合強度 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $( X_f = \alpha_t \times F_c )$

$\alpha_t$  : 割増し係数 (右表より)

$F_c$  : 設計基準強度 (kN/m<sup>2</sup>)

$\alpha_f$  : 現場/室内強度比

W/C=70% 確認配合量=250、300、350kg/m<sup>3</sup> の3配合による確認

変動係数	採取ヶ所数 (N)	1	2	3	4～6	7～8	9 以上
25%	割増係数 ( $\alpha_t$ )	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

※ 変動係数を想定し、7項に規定する抜き取りヶ所数N、合格確率80%とした上表を用いて設定する。

4. 施工計画書

本工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書には次の事項を明記する。

- ( 1 ) 工事概要

( 2 ) 工事場所

( 3 ) 工法概要

( 4 ) 施工概要

( 5 ) 使用固化材
- ( 6 ) 作業計画

( 7 ) 施工管理

( 8 ) 配合計画

( 9 ) 品質管理

( 10 ) 安全衛生管理

5. 施工

- ( 1 ) 固化材液の充填方法は、掘削時充填方法とする。

( 2 ) 掘削速度1.0m/分、引き上げ速度1.0m/分以下とする。

( 3 ) 施工手順は以下の通りとする。

1. コラムの中心位置を出し、その位置に攪拌ロッドの中心がくるように機械をセットする。

2. セットが完了したら攪拌ロッドを回転し、規定の速度で掘削を開始する。

3. 所定の位置まで来たら固化材液を攪拌ロッド先端より注入しながら掘削攪拌を行う。

4. 掘削が完了したら固化材液の注入をやめ、攪拌ロッドを掘削時と正逆回転し50 c m以上繰り返しを行う。

5. 逆回転で再攪拌しながら引き上げる。

6. 施工管理

- ( 1 ) コラムの鉛直度

改良機本体の傾斜計で管理する。
- ( 2 ) 固化材液の作成

水の計量 : 計量計又は水管計で計測する。  
固化材の計量 : 袋数又は重量計で計測する。
- ( 3 ) 固化材吐出量

流量計で計測し記録する。
- ( 4 ) 掘削深度

深度計で計測し記録する。
- ( 5 ) 掘削速度

速度計計測し記録する。
- ( 6 ) 支持層強度

トルク計で測定し記録する。

7. 強度管理試験

施工後のコラムより下表の採取ヶ所数に準じて強度管理試験用のコア採取を行うことし、

採取したコアの材齢28日における圧縮強度試験結果が下式をクリアしなければならない。

また、可否の判定は、N 箇所（抜取個数）の一軸圧縮強さの平均値×N と合格判定値×L

の大小関係と比較する事で行う。

供試体の採取方法		
改 良 長	採 取 位 置	
	頭 部 コ ア	深 度 コ ア
	採取方法：モールドコア	採取方法：ボーリングコア ：モールドコア
2 m以下の場合	50コラムにつき1ヶ所以上	1検査対象群につき1ヶ所以上
2 m以上の場合	100コラムにつき1本以上	

\* 頭部コア試験は1ヶ所（1本のコラム）あたり3箇のコア採取を基本とする。

\* 深度コア試験については1ヶ所（1本）以上のボーリングコアを実施することとし、その他はモールドコア試験により代用できるものとする。

$$X_N \geq X_L = F_c + k_a \cdot \sigma_d$$

ここに、

$X_N$  : N 箇所の一軸圧縮強さの平均値 (kN/m<sup>2</sup>)

$X_L$  : 合格判定値 (kN/m<sup>2</sup>) 1274kN/m<sup>2</sup>

$F_c$  : 設計基準強度 (kN/m<sup>2</sup>)

$k_a$  : 合格判定係数（下表による） (kN/m<sup>2</sup>)

N : 検査対象層の抜取箇所数

$\sigma_d$  : 設計で想定したコア強度の標準偏差  
 $\sigma_d = V_d \cdot q_{ud}$  (kN/m<sup>2</sup>)

$q_{ud}$  : 想定した一軸圧縮強さ (kN/m<sup>2</sup>)

$V_d$  : 変動係数

抜取箇所数	N	1	2	3	4～6	7～8	9 以上
合格判定係数	k <sub>a</sub>	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

※ 品質に支障があった場合の処理

品質に支障があった場合は、監理者と協議し適切な判断を下す。

8. 施工報告書

工事完了後、次の事項について報告書をまとめ、監督員に提出する。

- ( 1 ) コラム配置図及び番号

( 2 ) 施工年月日

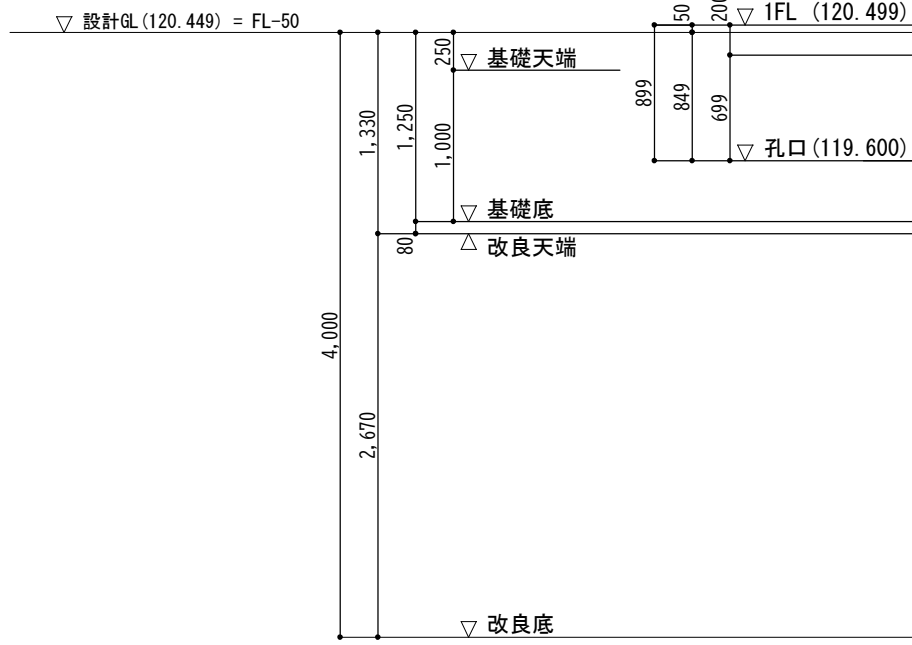
( 3 ) コラム径

( 4 ) 掘削長

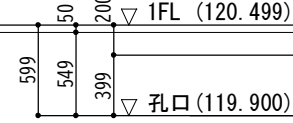
( 5 ) 掘削深度
- ( 6 ) 固化材の使用量

( 7 ) 強度管理試験結果

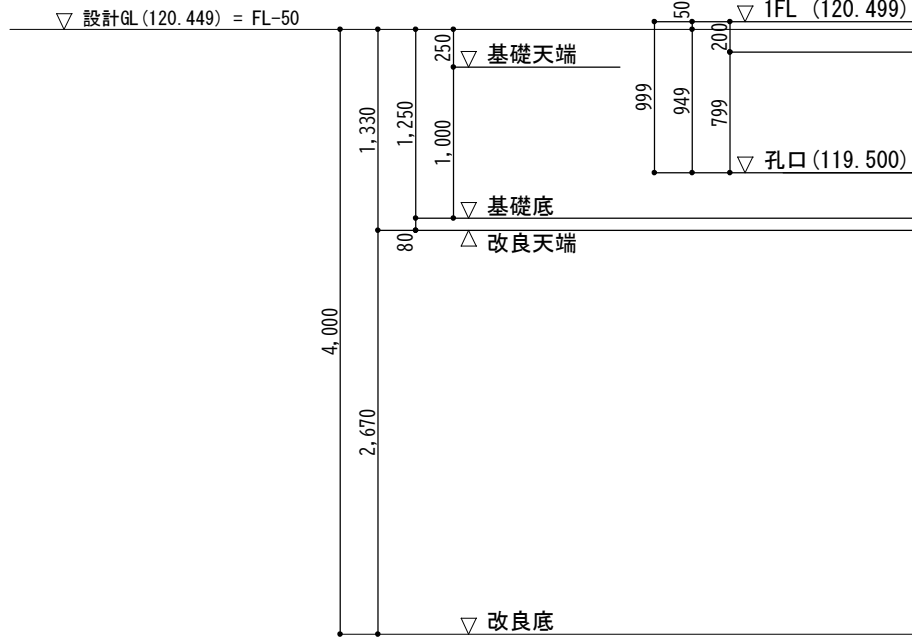




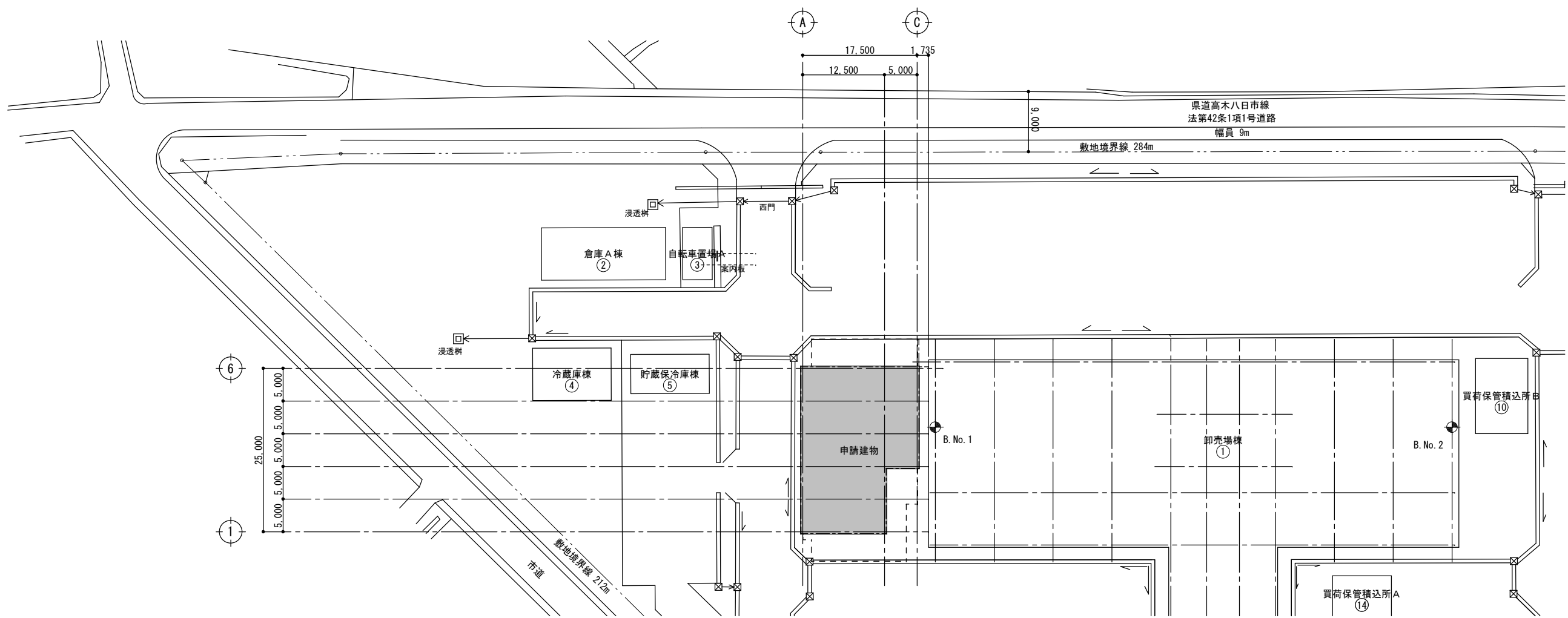
試錐番号 No. 1		試錐年月日		標高 119.600		
深度 (m)	土質名	標準貫入試験				備考
		10	N 値	20	30	
0	盛土					△ IFL (120.499)
0.5	礫混り砂		20			▽ IFL -1150
1.0			5			
2.5	粘土質シルト		6			
3.0						
4.0						
5.0	砂礫					



試錐番号 No. 2		試錐年月日		標高 119.900		
深度 (m)	土質名	標準貫入試験				備考
		10	N 値	20	30	
0	盛土					▽ IFL (120.499)
	砂混り砂		22			▽ IFL -1150
1			5			
2	粘土質シルト		6			
3						
4						
5	砂礫					

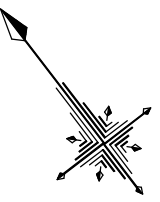


試錐番号 No 3		試錐年月日		標高 119.500		
深度 (m)	土質名	標準貫入試験				備考
		10	N 値	20	30	
0	盛土					△ IFL (120.499)
0.5	砂混り砂		25			
1	粘土質シルト		20			
2	砂混り粘土質シルト					
2.5				24		
3						
4						
5	砂礫					



調査位置図

：B-1/B-2 調査実施位置を示す  
B.No. 1~2  
(B.No. 3 は調査位置不明)



着工						株式会社 創作舎	作成	2025.09.12	名称	東近江市農業振興施設整備工事	図番	構 - 08
竣工							証印		図名	地質調査資料		
施工						1級建築士登録 第248195号 小杉光史						



構造仕様  
基礎伏図


A1:1/100  
A3:1/200


基 礎	独立フーチング基礎	
	地盤	粘土系固結材による深層混合処理工法（SS工法 または同等工法とする）
	コラム径	φ800 88本（空掘り長:1,330 + 改良土長:2,670 = 先端深度:GL-4,000）
	設計支持力度	Lqa = 200 kN/m <sup>2</sup> （長期） Sqa = 300 kN/m <sup>2</sup> （短期） qu = 600 kN/m <sup>2</sup> （終局）
	設計基準強度	800 kN/m <sup>2</sup>
	固結材配合量	300 kg/m <sup>3</sup> （仮定：室内配合試験により決定するものとし、検査時に報告を行うものとする）
	試験	一軸圧縮試験（H13国交省告示第1113号第3）
	水固材比	70 %
	固結材	六価加L対応型
	設計GL	設計GL = 120.449
地質調査	ボーリング調査（標準貫入試験） 3ヶ所 孔口GL -4.000m：実施済み	
支持層	支持層は、“砂礫層”とする 監督員は着工に先立って“試験掘等”による支持層の確認を行い、必要に応じて設計の変更を行うものとする	
鉄 筋	D16以下：SD295（JIS G3112）重ね継手 D19以上：SD345（JIS G3112）ガス圧接または溶接継手のいずれかとする 梁貫通 原則として設備配管は、基礎梁上部または下部で行うものとし、梁貫通は行わないものとする 梁貫通が必要な場合、補強筋は原則として工場製品（評定品：メーカー仕様による）を使用する	
コンクリート	設計基準強度 Fc24（躯体コンクリート） Fc18（土間コンクリート・基礎巾木・捨てコンクリート）	
鉄 骨	主柱 BCR295 間柱 BCR295-STKR400-SS400 大梁・小梁 SS400 継手・仕口仕様 H12建設省告示1464号（食い違い・アンダーカット等の規定）を遵守することとする 高力ボルト H12形高力ボルト（S10T） 一部、溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T）	


基礎伏図 1:100


特記なきものは下記による

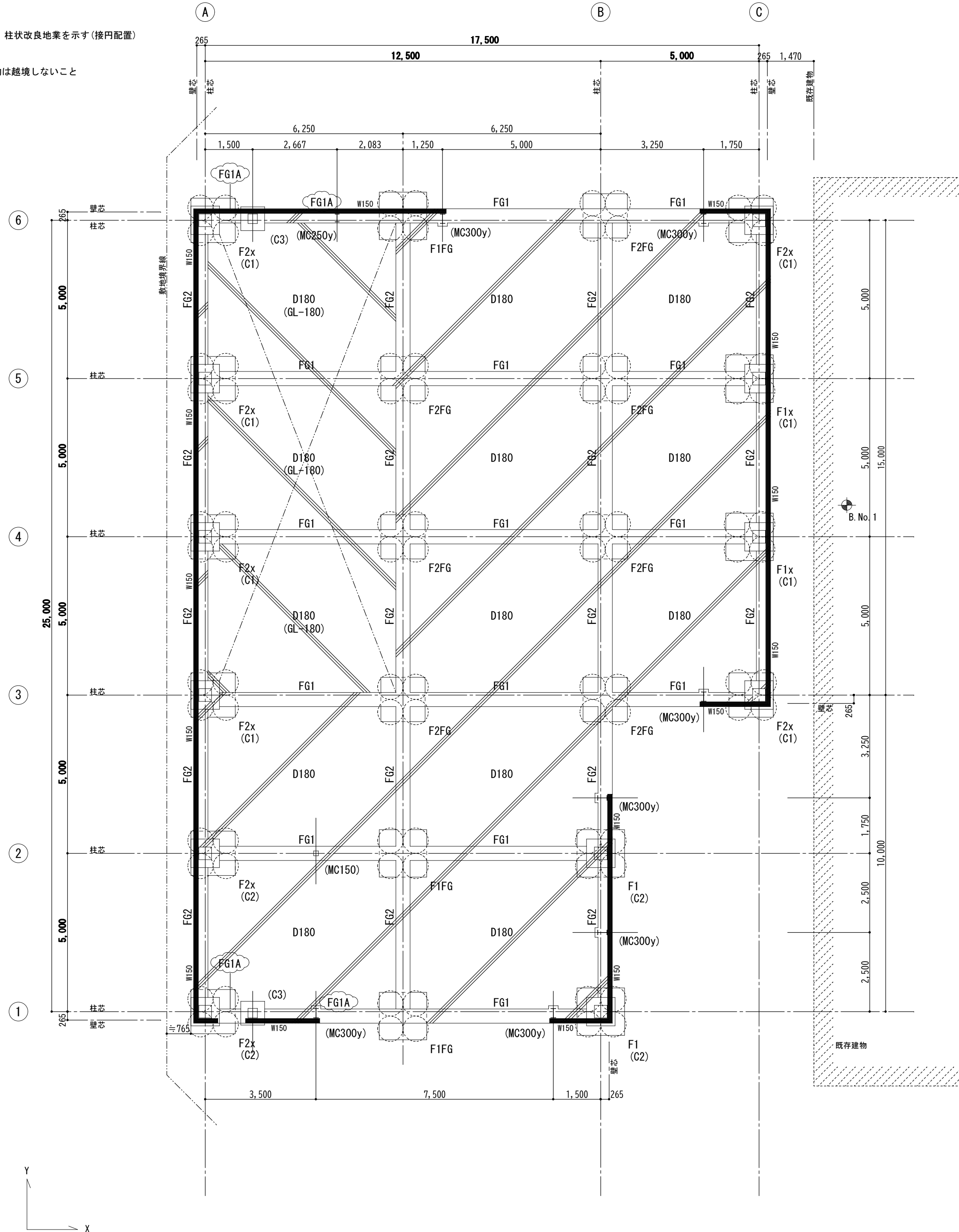
・変更のある場合は、設計者と事前協議のうえ承認を得ること

 : 土間コンクリート 厚180 (D13-E200 ダブル配筋)  
\*収縮ひび割れ誘発目地を適宜施工すること。(仕様は施工詳細図による)  
\*土間レベルおよび大走などは意匠図(施工詳細図等)による

 : 立上りコンクリート(白抜き部分は開口部を示す)  
鉄骨柱等とのクリアランスは“15mm以上”とする

 : ボーリング調査実施位置を示す  
B. No. 1～2

 : 柱状改良地盤を示す(接内配置)  
\*構造物は越境しないこと



Y

X

図 番

構 - 09

着工

竣工

施工

株式会社 創作舎

1級建築士登録 第248195号 小杉光史

作成 2025.09.12

図名 構造仕様・基礎伏図

証印

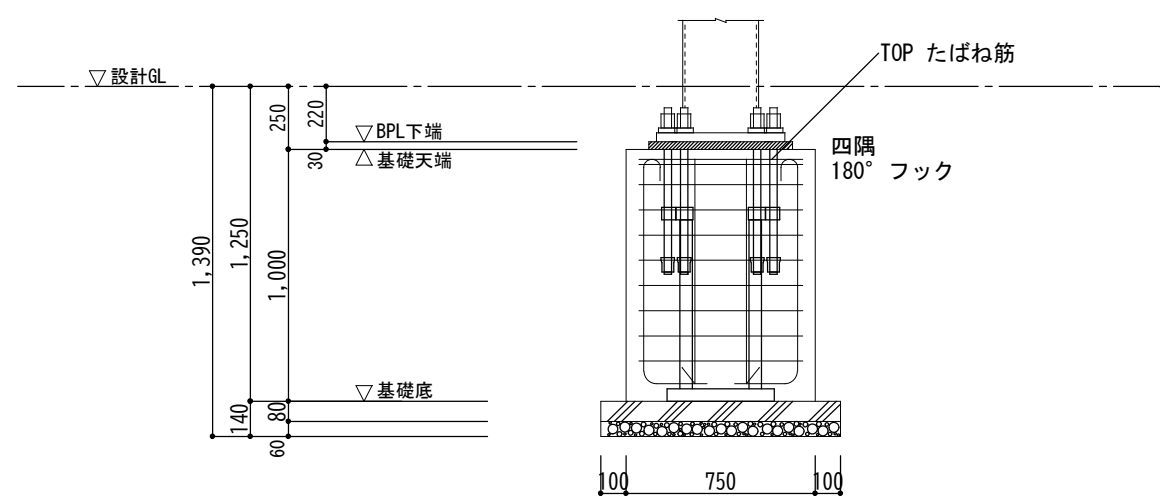
名称 東近江市農業振興施設整備工事

図番 構 - 09

File 2025/09/12 Output 2025/12/9

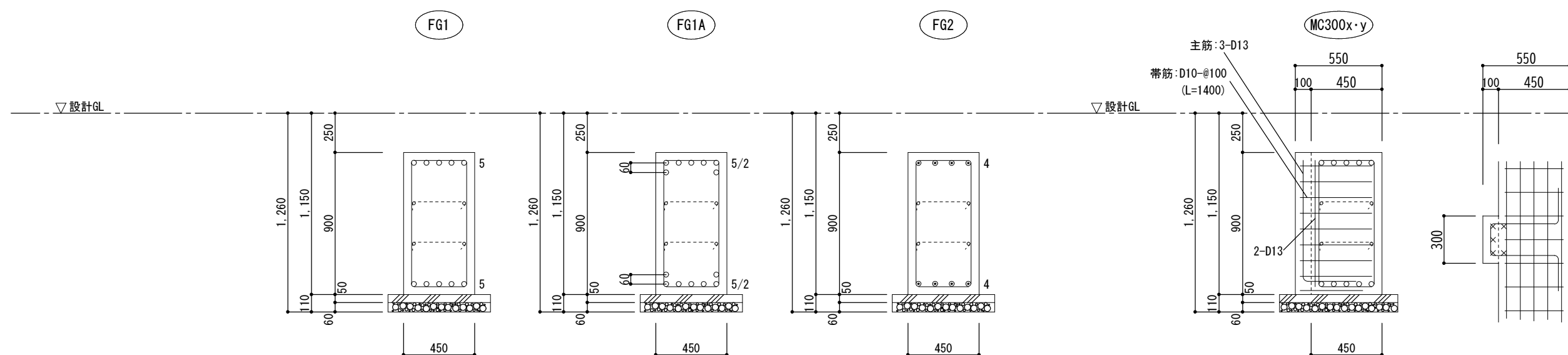
K-e-ins 1級建築士事務所所泊実習知事登録第ト-1310号 1級建築士第152648号 構造設計1級建築士第2336号 平塚政己

基礎



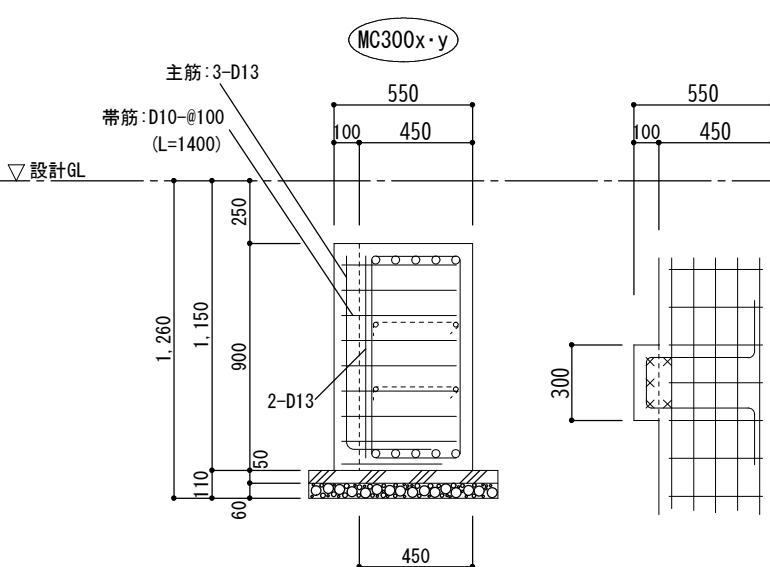
### 基礎梁

あばら筋は片隅フック・フック先曲げとする



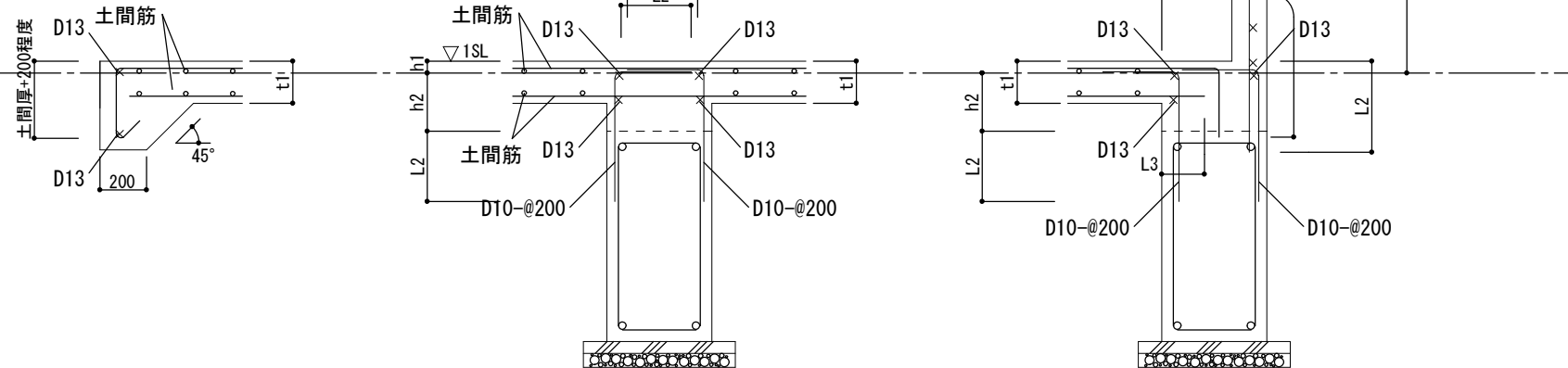
B * D	450*900	450*900	450*900
上端筋	5-D22	7-D22 (2段筋)	4-D25
下端筋	5-D22	7-D22 (2段筋)	4-D25
肋 筋	D13#150	D13#150	D13#150
腹 筋	4-D10	4-D10	4-D10
幅止筋	D10#1000	D10#1000	D10#1000

間柱部基礎梁増打







## 土間コンクリート補強・基礎巾木

土間上端筋 :  $L_2 = L_a = 15d$   
土間下端筋 :  $L_3 = 10d$  かつ 150 以上

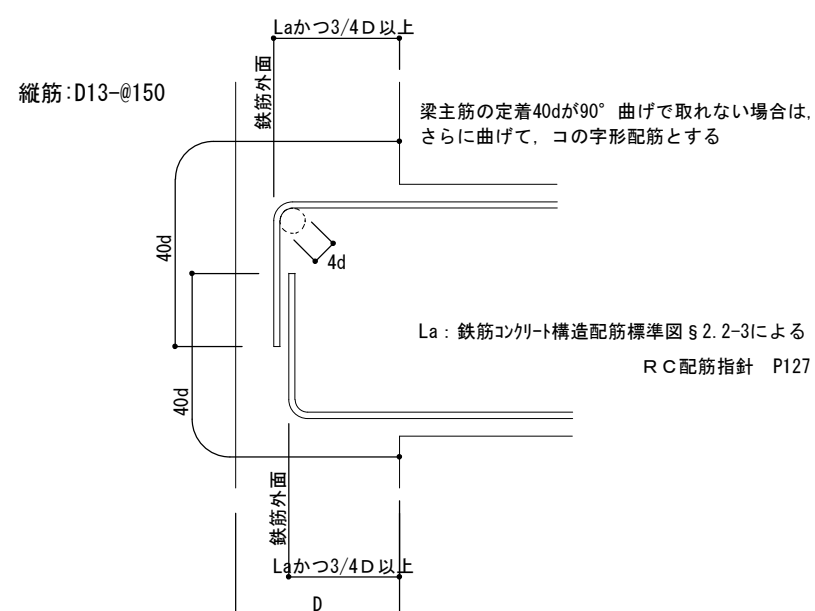


各部寸法	
t1	180
t2	150
h1	50
h2	250
h3	1150

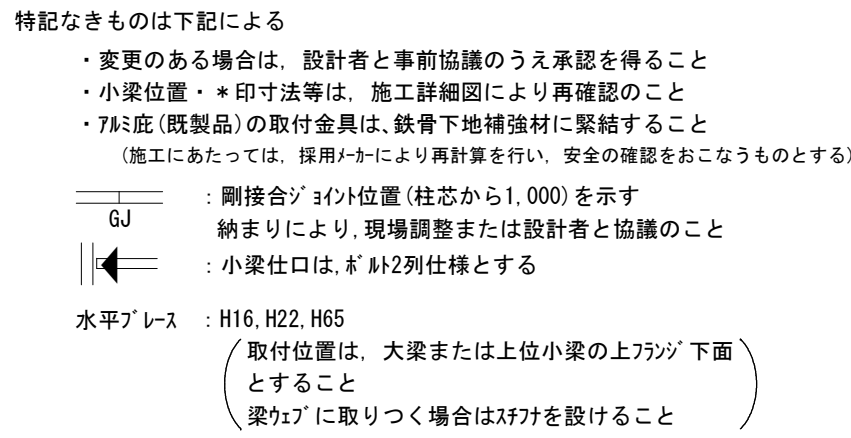
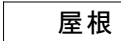
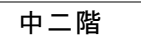
定着長 L2		*折曲げ位置は梁端の1/2を超えること			
コンクリート強度 Fc	L2	D10	D13	D16	採用
18 (土間・立上り)	40d	400	520	640	○
21	35d	350	455	560	
24 (躯体)	30d	300	390	480	○

凡例	
	捨てコンクリート
	砕石地業
	防錆根巻コンクリート(最小かぶり100)
	無収縮モルタル

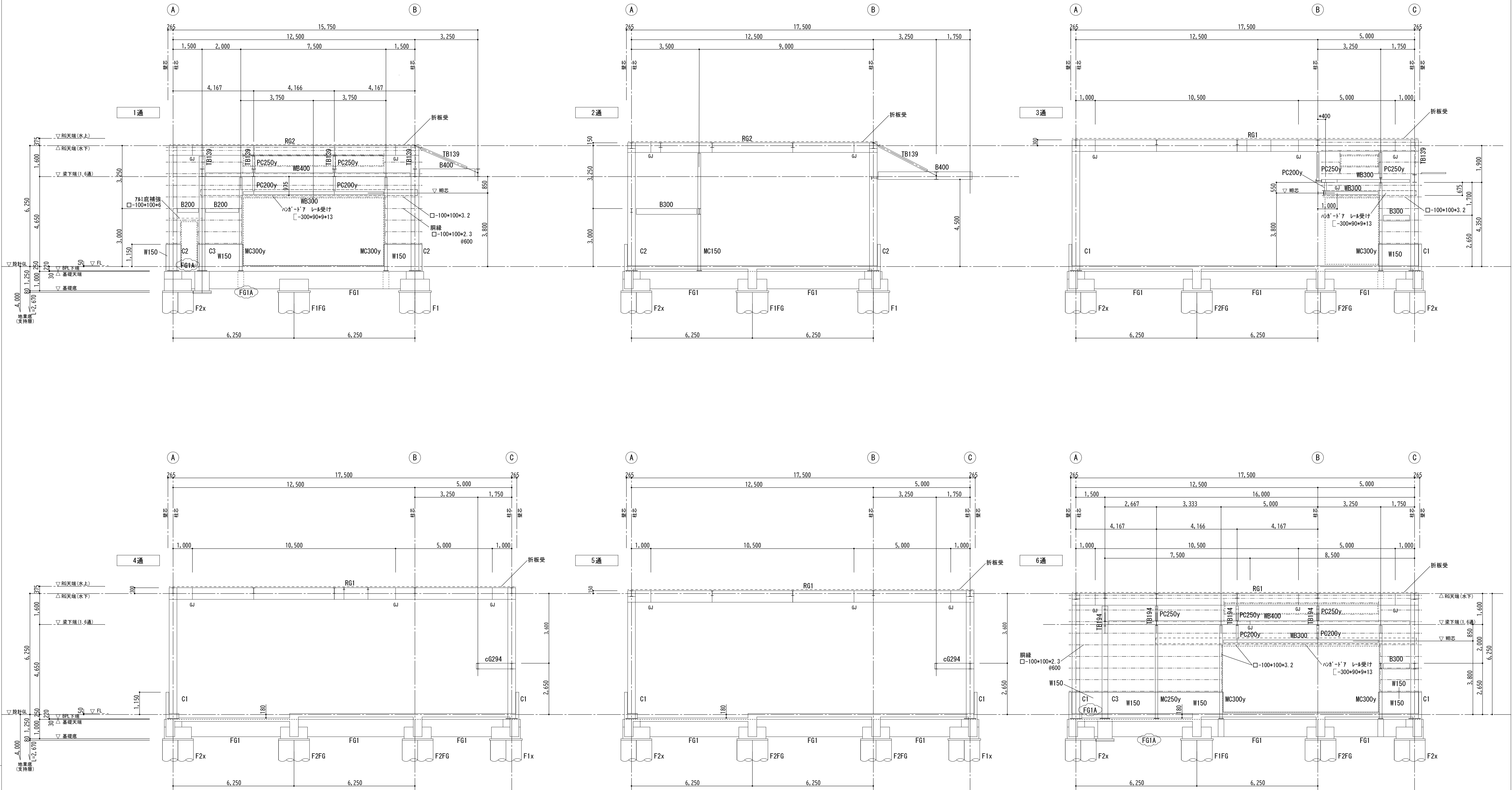
### 梁主筋の柱への定着



着工					株式会社 創 作 舎	作 成	名 称	東 近 江 市 農 業 振 興 施 設 整 備 工 事	図 番
竣工						2025.09.12			
施工						証 印	図 名		
					1級建築士登録 第248195号 小杉光史		基礎リスト		構 - 10



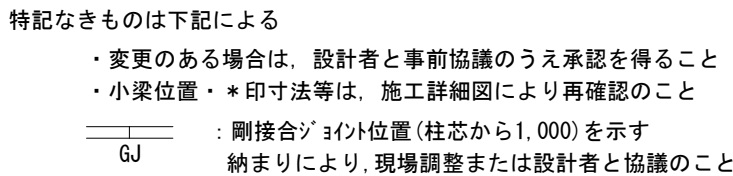
着工					株式会社 創 作 舎	作成	名 称	東近江市農業振興施設整備工事	図 番
竣工						2025.09.12			
施工									
					1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証印	図 名		



特記なきものは下記による  
・変更のある場合は、設計者と事前協議のうえ承認を得ること  
・小泉位置・\*印寸法等は、施工詳細図により再確認のこと  
○ : 剛接合ジョイント位置(柱芯から1,000)を示す  
GJ : 納まりにより、現場調整または設計者と協議のこと

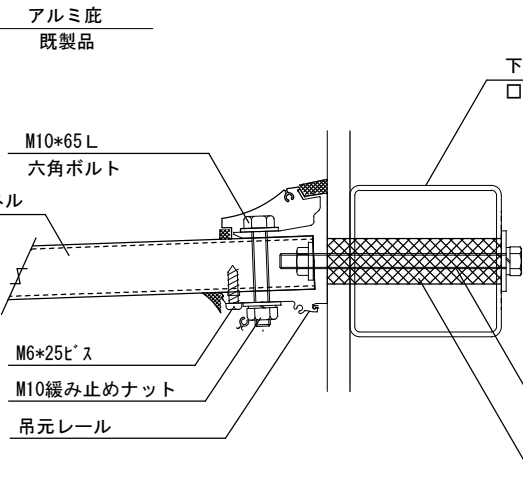
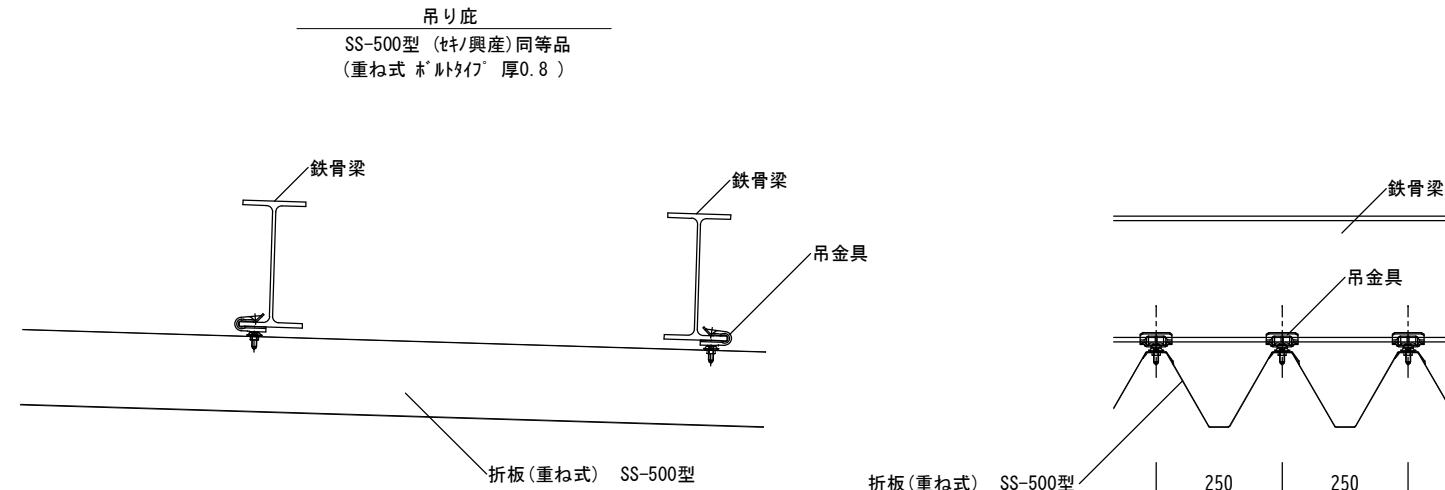
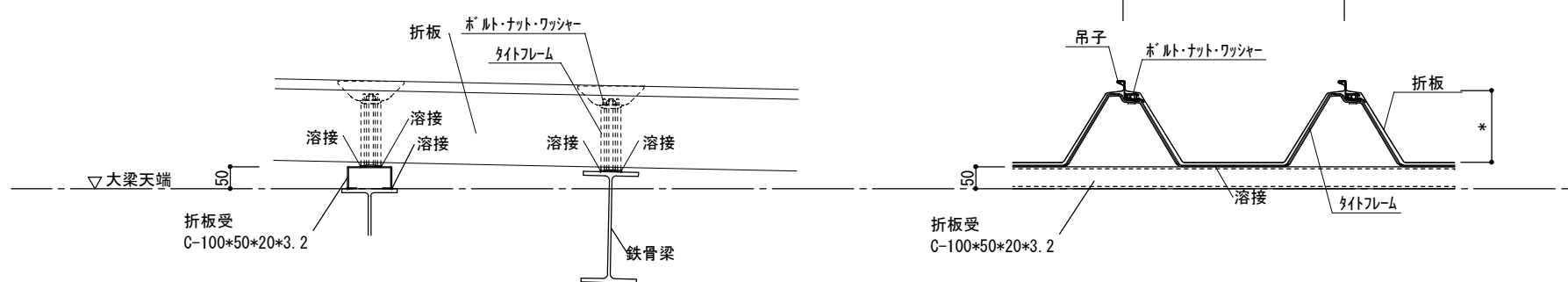
着工						株式会社 創作舎	作成	2025.09.12	名称	東近江市農業振興施設整備工事	図番	構 - 12
竣工							証印		図名	軸組図 - 1		
施工						1級建築士登録 第248195号 小杉光史						





壓根  
SV-2型(特/興産)同等品  
厚0.8)

- ・ 印寸法はフタ-仕掛による
- ・ 施工にあたっては、採用フタ-により再計算を行い、安全の確認をおこなうものとする
- ・ 性能値は JIS A6514 の耐力性能試験結果より算出したものとする
- ・ 取り付け下地については、社団法人 日本金属屋根協会  
「折板屋根の下地についてのお願い」を参照のこと
- ・ 7mm 底は鉄骨下地に直接取り付けること（外壁直止め禁止）



着工					株式会社 創 作 舎	作 成	名 称	東近江市農業振興施設整備工事	図 番
竣工						2025.09.12			
施工						証 印	図 名		
					1級建築士登録 第248195号 小杉光史		軸組図-2		構 - 13





間柱仕口 1/20

